

柏市
子ども・子育て支援に関するニーズ調査
【結果報告書概要版】

令和6年3月

柏市

目次

I	調査の概要	1
II	調査結果 就学前の子どもを持つ保護者.....	4
	1. お住まいの地域について	4
	2. あて名のお子さんご家族について.....	5
	3. 子育てに対する意識や環境について.....	7
	4. 保護者の方の就労状況について	14
	5. 平日の定期的な認定こども園・保育園・幼稚園等の利用について.....	15
	6. 土曜・休日や夏休み・冬休みなどの定期的な認定こども園・保育園・幼稚園等の利用 について	21
	7. 地域の子育て支援サービスの利用について.....	23
	8. あて名のお子さんが病気のときの対応について.....	27
	9. あて名のお子さんの一時預かり等の利用について.....	29
	10. あて名のお子さんの放課後の過ごし方について ※5歳以上が対象	33
	11. 育児休業の取得状況などについて.....	34
	12. 理想の人数のお子さんを育てるために必要な支援について.....	37
	13. 子育てあるいは子育て支援全般について.....	38
III	調査結果 就学児（小学生）の保護者.....	39
	1. あて名のお子さんご家族について.....	39
	2. あて名のお子さんの放課後の過ごし方について.....	41
	3. 理想の人数のお子さんを育てるために必要な支援について.....	47
	4. 子育てあるいは子育て支援全般について.....	48
IV	調査結果 小学生4～6年生	49

I 調査の概要

(1) 調査の目的

本調査は、令和2年3月に策定した「柏市第2期子ども・子育て支援事業計画」が令和6年度に終了することに伴い、令和7年（2025）年度からの「柏市第3期子ども・子育て支援事業計画」の策定の基礎資料とするため、市民の皆さまの子育て支援事業に関するニーズ量や子育て支援に関するご意見・ご要望等を把握することを目的に実施しました。

(2) 調査対象者

調査区分	調査対象者数	調査対象
就学前の子どもを持つ保護者	5,000人	無作為抽出
小学1年生から小学6年生までの保護者	1,200人	無作為抽出
小学4年生から6年生	600人	無作為抽出

(3) 実施概要

- 調査地域：柏市全域
- 調査形式：アンケート調査
- 調査方法：郵送配布・Web回収
- 調査期間：令和5年12月1日～令和5年12月15日

(4) 回収結果

調査区分	配布数	回収数	回収率
就学前の子どもを持つ保護者	5,000人	1,697人	33.9%
小学1年生から小学6年生までの保護者	1,200人	502人	41.8%
小学4年生から6年生	600人	206人	34.3%
合計	6,800人	2,405人	35.4%

I 調査の概要

(5) 教育・保育提供区域の設定

教育・保育提供区域の設定については、本市の地理的条件、人口、交通事情等の社会的条件や教育・保育施設の整備状況から、以下の3区域を設定しています。

教育・保育提供区域※1	7地域別※2	コミュニティエリア別
北部区域	北部1	田中, 柏の葉, 西原
	北部2	富勢, 松葉, 高田・松ヶ崎
中央区域	中央1	豊四季台, 新富, 旭町
	中央2	柏中央, 新田原, 富里, 永楽台
南部・東部区域	南部1	増尾, 南部, 藤心
	南部2	光ヶ丘, 酒井根
	東部	手賀, 風早北部, 風早南部

※1 第二期計画策定時に設定した教育・保育提供区域を使用しています。

※2 柏市将来人口推計で採用している『柏市高齢者いきいきプラン 21』で定める日常生活圏域（中圏域）に準拠して設定した7地域

(6) 報告書を見る際の留意点

- 調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点第2位を四捨五入して小数点第1位までを示しているため、その合計値が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答の設問の場合、回答比率の合計は100.0%を超える場合があります。
- グラフ中の「n」とは、その設問の回答者数（母数）を表しています。
- クロス集計表では、無回答を除外しているため、合計と一致しない場合があります。
- 選択肢の文章が長い場合、要約して短く表現している場合があります。
- 本調査では、父母の有無や就労状況から家庭類型を行っており、以下のとおり、8タイプに区分されます。なお、家庭類型は「現在」と、今後の就労意向を踏まえた「潜在」があります。

タイプ	父母の有無と就労状況	本市の 家庭類型「現在」 構成比
タイプA	ひとり親家庭	1.5%
タイプB	フルタイム×フルタイム	51.1%
タイプC	フルタイム×パートタイム (就労時間：月120時間以上＋下限時間～120時間未満の一部)	12.6%
タイプC'	フルタイム×パートタイム (就労時間：下限時間未満＋下限時間～120時間未満の一部)	8.0%
タイプD	専業主婦（夫）	26.6%
タイプE	パートタイム×パートタイム (就労時間：月120時間以上＋下限時間～120時間未満の一部)	0.1%
タイプE'	パートタイム×パートタイム (就労時間：下限時間未満＋下限時間～120時間未満の一部)	0.1%
タイプF	無業×無業	0.1%

※下限時間：本市では保育の必要性の下限時間を64時間で設定しています。

※本市の家庭類型「現在」の構成比は、家庭類型を行う上で必要な設問に対して回答があった人を母数（1,697人）として算出しています。

	1. フルタイム 2. 育児・介護休業中	3. パートタイム就労 4. 育児・介護休業中			5. 現在は就労していない 6. 就労したことがない
		120時間以上	120時間未満 下限時間以上	下限時間未満	
1. フルタイム 2. 育児・介護休業中	タイプB	タイプC	タイプC'	タイプD	
3. パートタイム就労 4. 育児・介護休業中	120時間以上	タイプC	タイプE	タイプE'	タイプD
	120時間未満 下限時間以上	タイプC'	タイプE'	タイプE'	タイプD
	下限時間未満				
5. 現在は就労していない 6. 就労したことがない	タイプD	タイプD	タイプD	タイプD	タイプF

Ⅱ 調査結果 就学前の子どもを持つ保護者

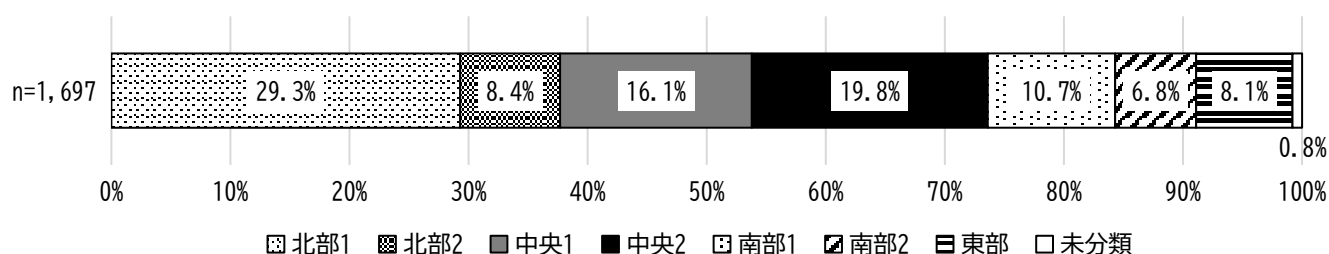
1. お住まいの地域について

問1 お住まいの地域の郵便番号をお答えください。

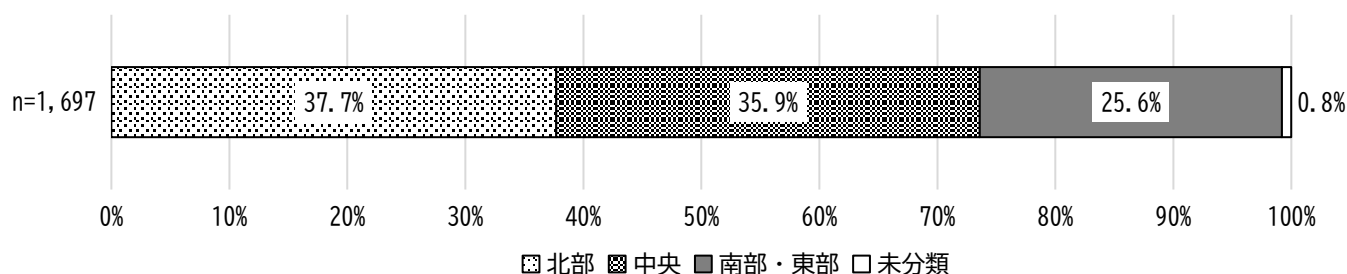
調査票に記入された居住地の郵便番号より、7地域に分類した結果は、「北部1」が29.3%で最も高く、次いで「中央2」が19.8%、「中央1」が16.1%となっています。

また、教育・保育提供区域別でみると、「北部区域」が37.7%、「中央区域」が35.9%、「南部・東部区域」が25.6%となっています。

【7地域別】



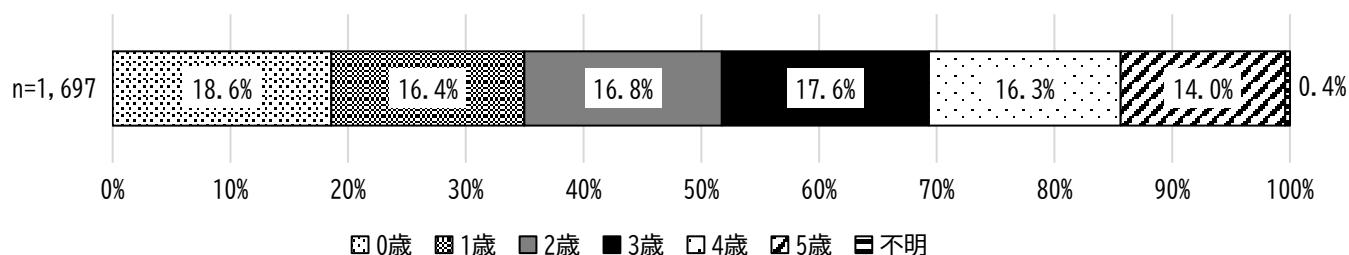
【教育・保育提供区域別】



2. あて名のお子さんご家族について

問2 宛名のお子さんの生年月を選択してください。(1つ選択) ※2023年10月時点

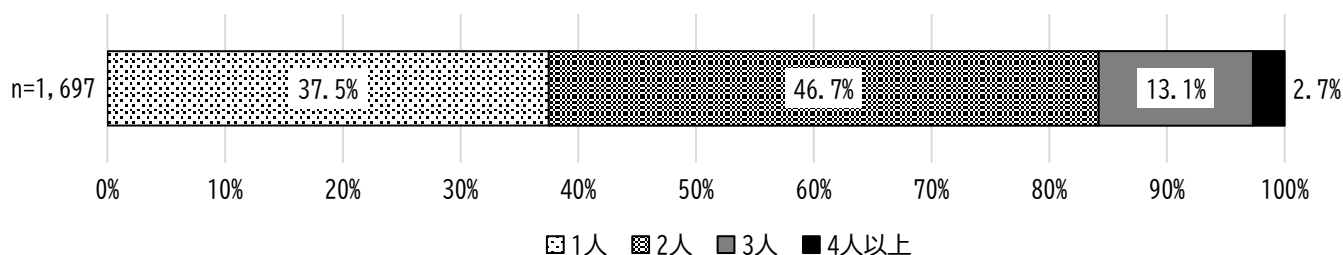
お子さんの年齢については、「0歳」が18.6%で最も高く、次いで「3歳」が17.6%、「2歳」が16.8%となっています。



問3 宛名のお子さんを含めたきょうだいの人数を選択してください。(1つ選択)

子どもの人数については、「2人」が46.7%で最も高く、次いで「1人」が37.5%、「3人」が13.1%となっています。

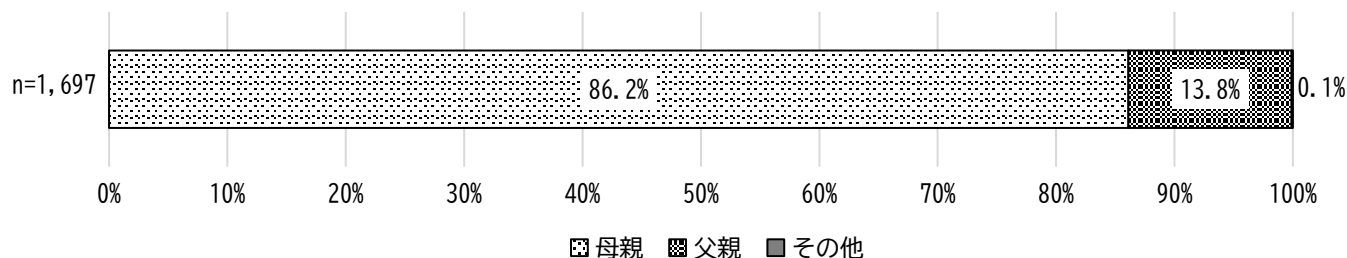
【子どもの人数】



Ⅱ 調査結果 就学前の子どもを持つ保護者

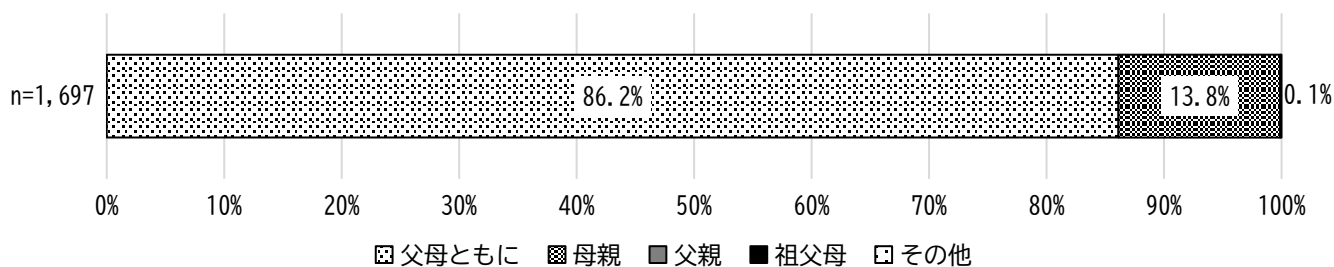
問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。(1つ選択)

調査票への回答者については、「母親」が86.2%で最も高く、次いで「父親」が13.8%、「その他」が0.1%となっています。



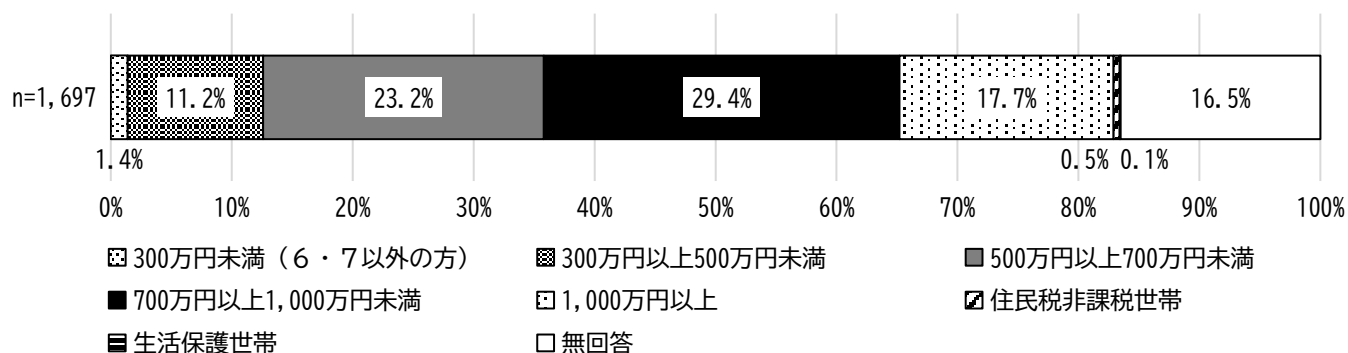
問6 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。(1つ選択)

お子さんの子育てを主にしている方については、「父母ともに」が86.2%で最も高く、次いで「母親」が13.8%、「父親」が0.1%となっています。「祖父母」と「その他」との回答はありませんでした。



問7 差し支えなければ世帯の年間の収入（税込み）をお答えください。(1つ選択)

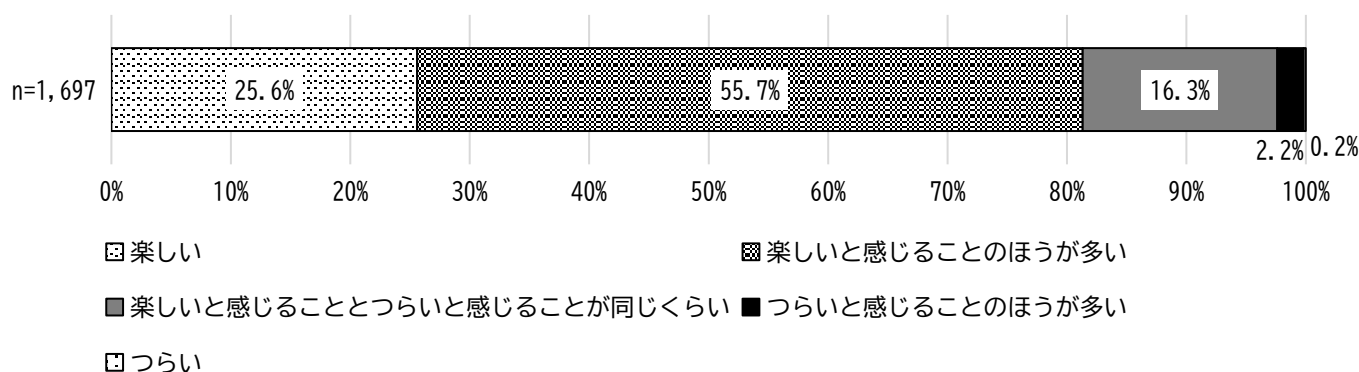
年間の世帯年収については、「700万円以上1,000万円未満」が29.4%で最も高く、次いで「500万円以上700万円未満」が23.2%、「1,000万円以上」が17.7%となっています。なお、「住民税非課税世帯」は0.5%、「生活保護世帯」は0.1%となっています。



3. 子育てに対する意識や環境について

問8 子育ては楽しいですか。(1つ選択)

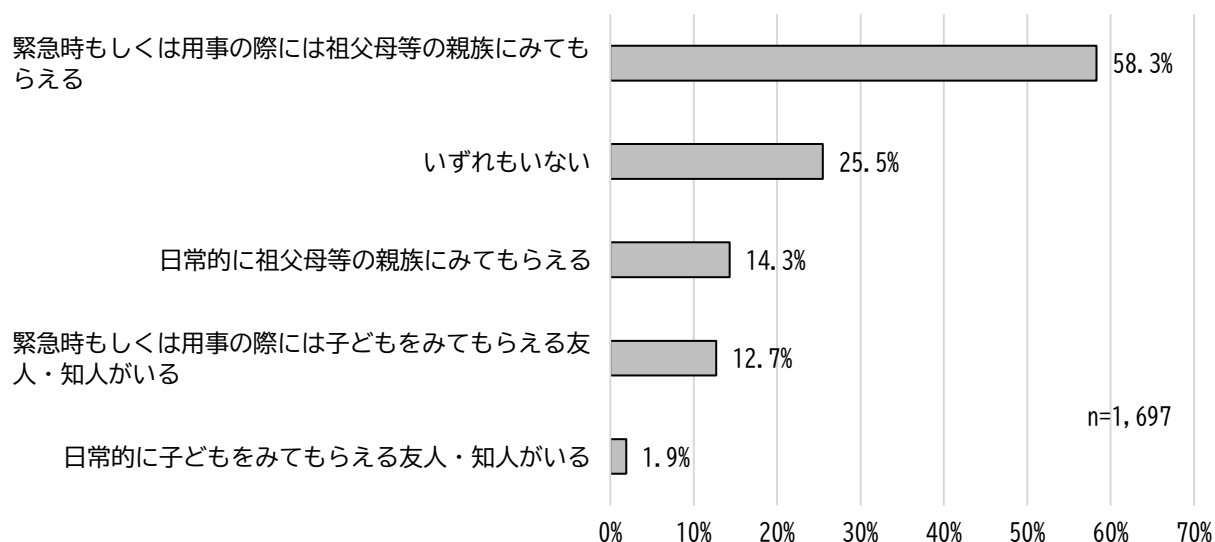
子育てが楽しいかについては、「楽しいと感じることのほうが多い」が55.7%で最も高く、次いで「楽しい」が25.6%、「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」が16.3%となっています。



問9 子育て（教育を含む）に関する親族や知人等との関係についてお答えください。

日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(あてはまるものをすべて選択)

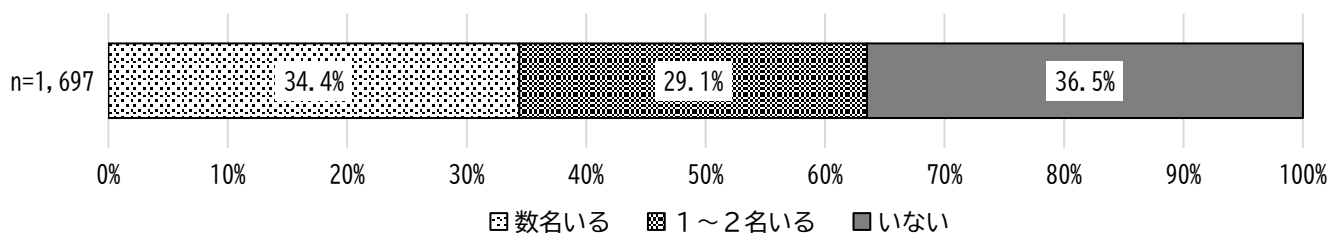
お子さんをみてもらえる親族・知人の状況については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が58.3%で最も高く、次いで「いずれもいない」が25.5%、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が14.3%となっています。



Ⅱ 調査結果 就学前の子どもを持つ保護者

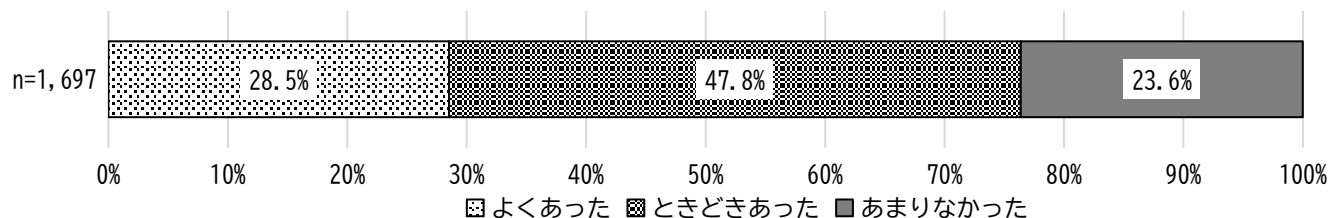
問 10 親子でいっしょに過ごす子育て仲間はいですか。(1つ選択)

子育て仲間の有無については、「いない」が36.5%で最も高く、次いで「数名いる」が34.4%、「1～2名いる」が29.1%となっています。



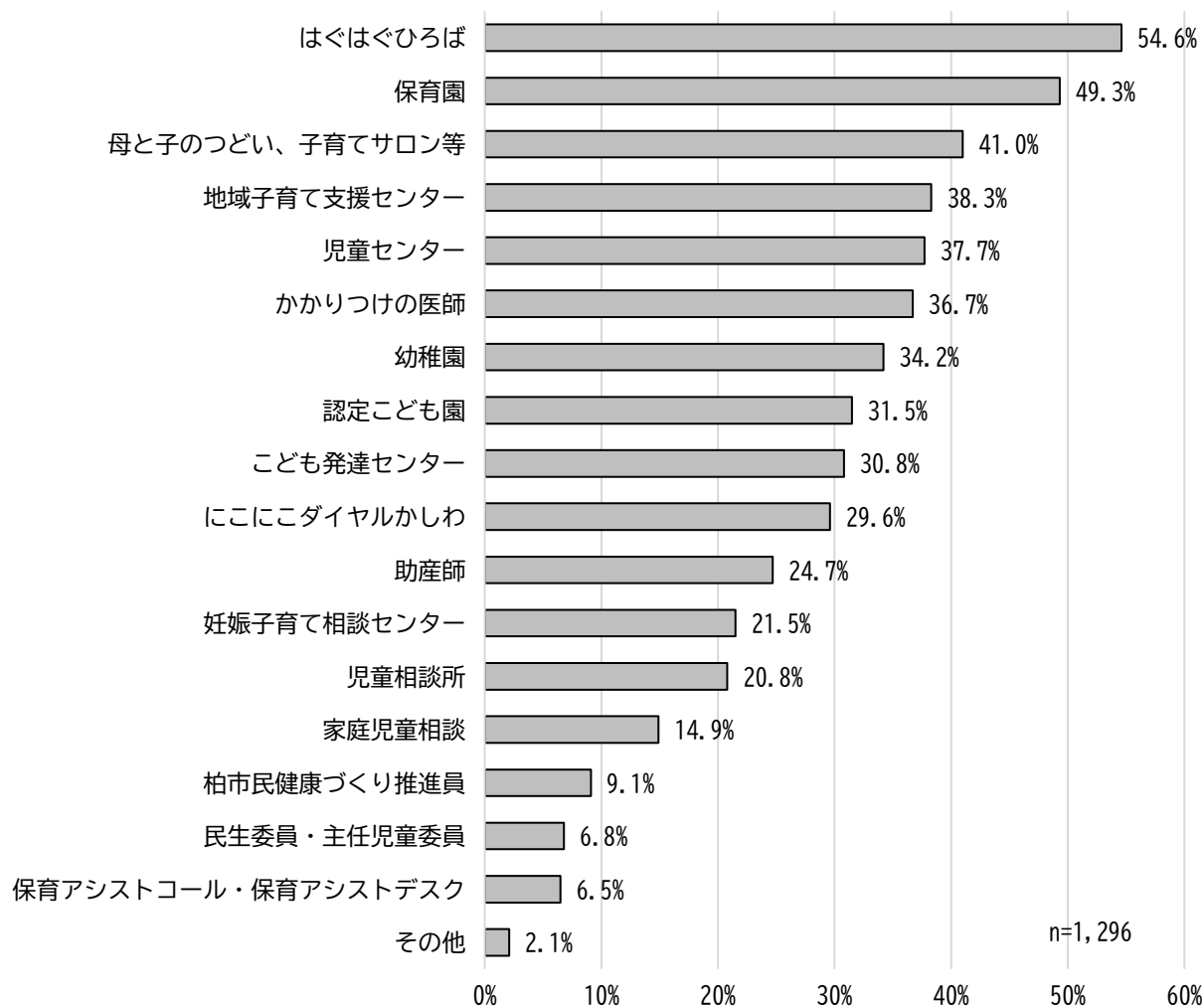
問 11 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）のことで今まで心配や悩みがありましたか。(1つ選択)

子育てにおける心配事等の状況については、「ときどきあった」が47.8%で最も高く、次いで「よくあった」が28.5%、「あまりなかった」が23.6%となっています。



問 11-1 問 11 で「1. よくあった」、「2. ときどきあった」と回答した方にうかがいます。
下記の相談先で、知っているものをすべてお答えください。（あてはまるものをすべて選択）

知っている相談先については、「はぐはぐひろば」が 54.6%で最も高く、次いで「保育園」が 49.3%、「母と子のつどい、子育てサロン等」が 41.0%となっています。



（「その他」の主な内容）

- ・保健所
- ・駅前すこやかプチルーム
- ・保健師

など、全 26 件

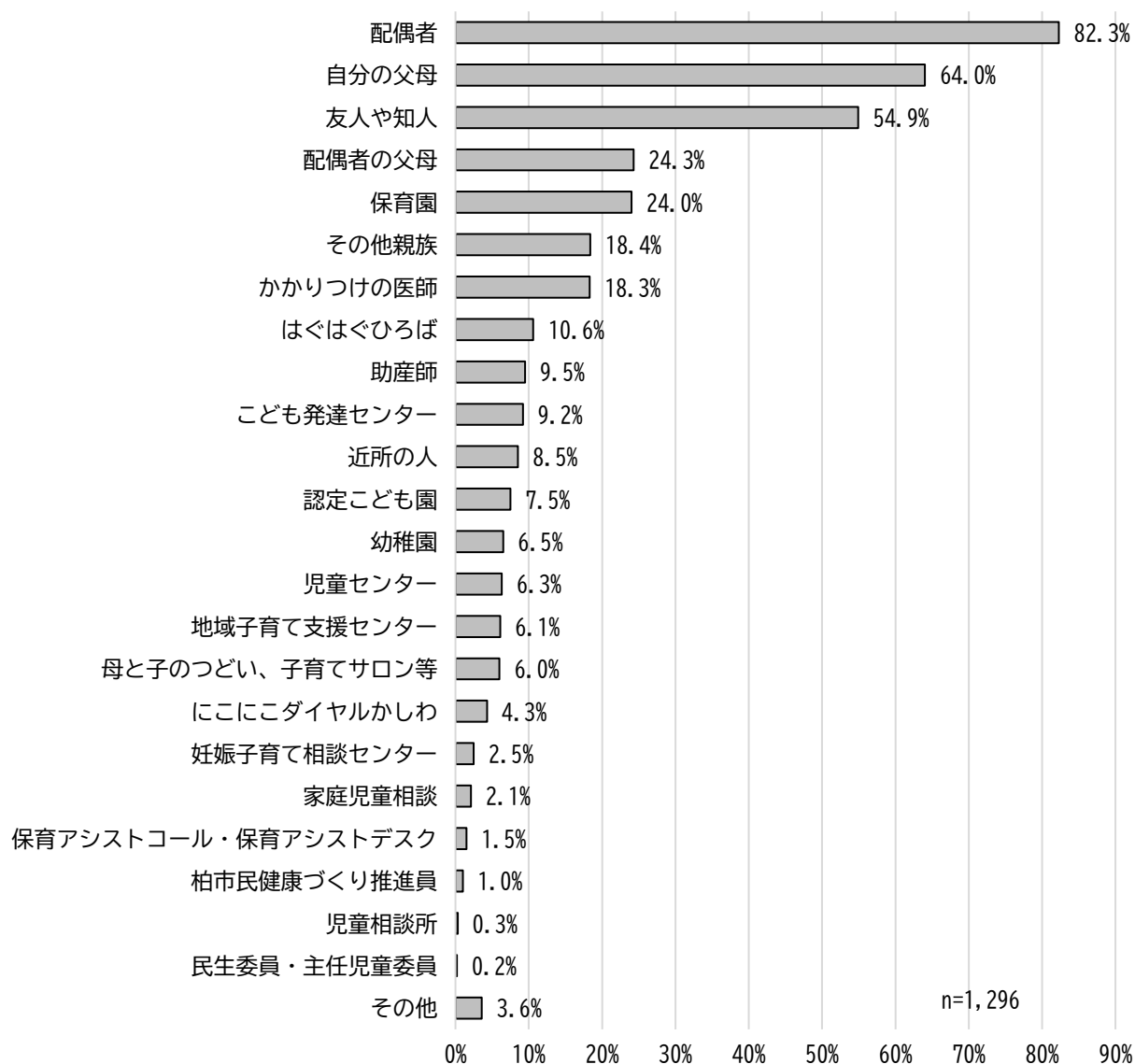
Ⅱ 調査結果 就学前の子どもを持つ保護者

問 11-2 問 11 で「1. よくあった」、「2. ときどきあった」と回答した方にうかがいます。

相談先の中で、利用した（相談した）ものをすべてお答えください。（あてはまるものをすべて選択）

利用した（相談した）相談先については、「配偶者」が 82.3%で最も高く、次いで「自分の父母」が 64.0%、「友人や知人」が 54.9%となっています。

施設の中で上位をみると、「保育園」が 24%と高く、次いで「かかりつけの医師」18.3%、「はぐはぐひろば」10.6%となっています。



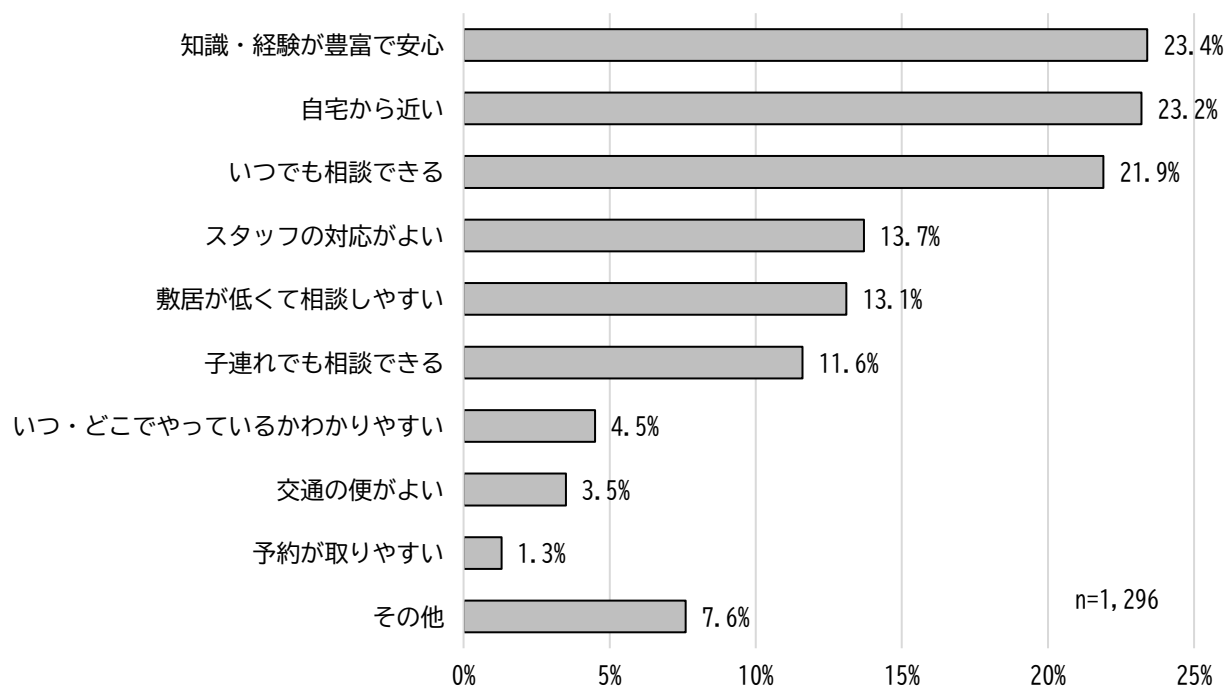
（「その他」の主な内容）

- ・保健所
- ・駅前すこやかプチルーム
- ・保健師

など、全 44 件

問 11-3 問 11-2 の「7. 認定こども園」～「24. その他」の相談先を利用した理由をお答えください。（あてはまるものをすべて選択）

相談先を利用した理由については、「知識・経験が豊富で安心」が 23.4%で最も高く、次いで「自宅から近い」が 23.2%、「いつでも相談できる」が 21.9%となっています。



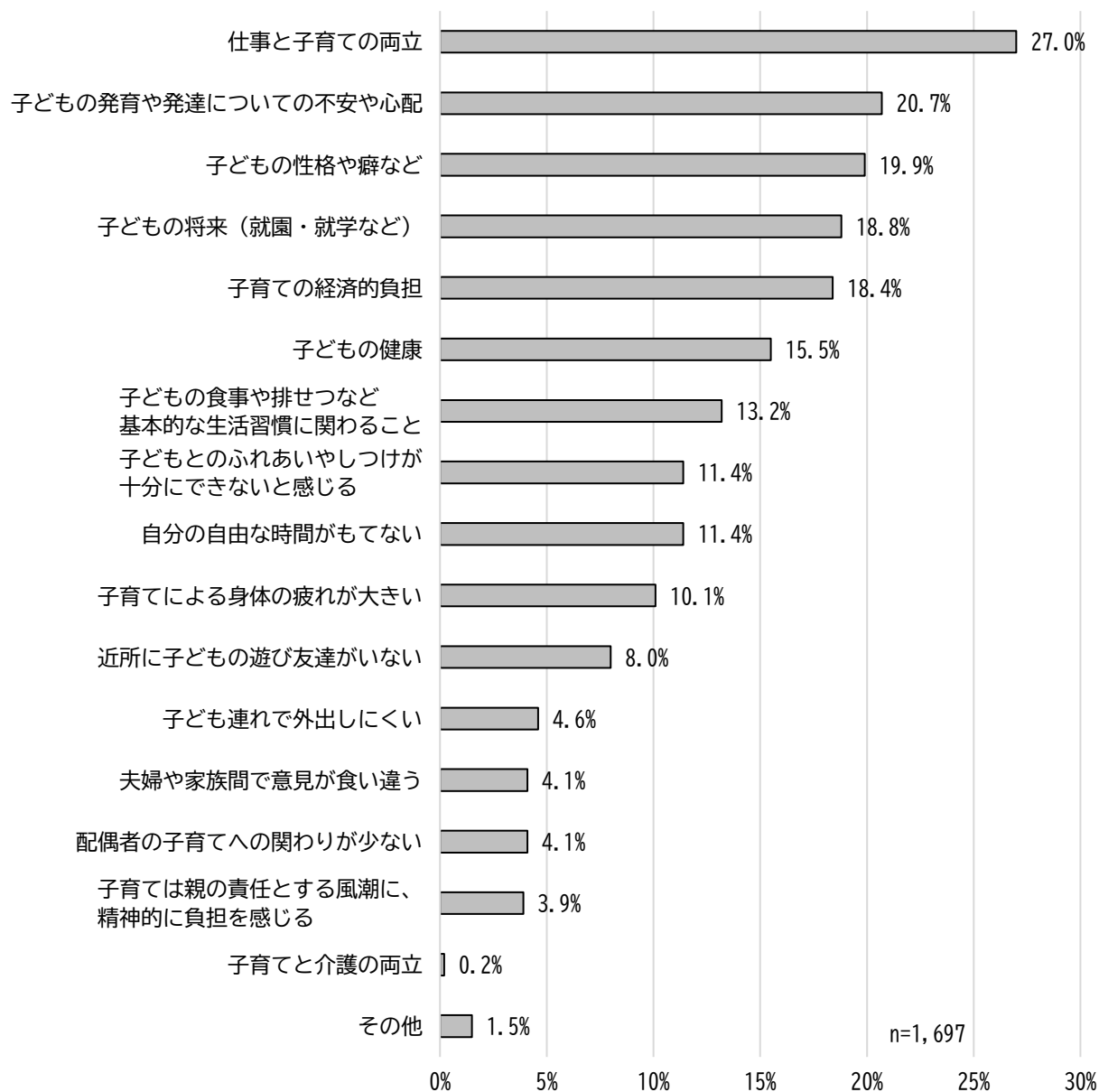
（「その他」の主な内容）

- ・通園しているから。
- ・定期検診などのついでにきけるから。
- ・家庭訪問の保健師に勧められたから。

など、全 92 件

問 12 あて名のお子さんの子育てにおいて、どのような心配や悩みがありますか。(3 つまで選択可)

子育てにおける心配事等については、「仕事と子育ての両立」が 27.0%で最も高く、次いで「子どもの発育や発達についての不安や心配」が 20.7%、「子どもの性格や癖など」が 19.9%となっています。



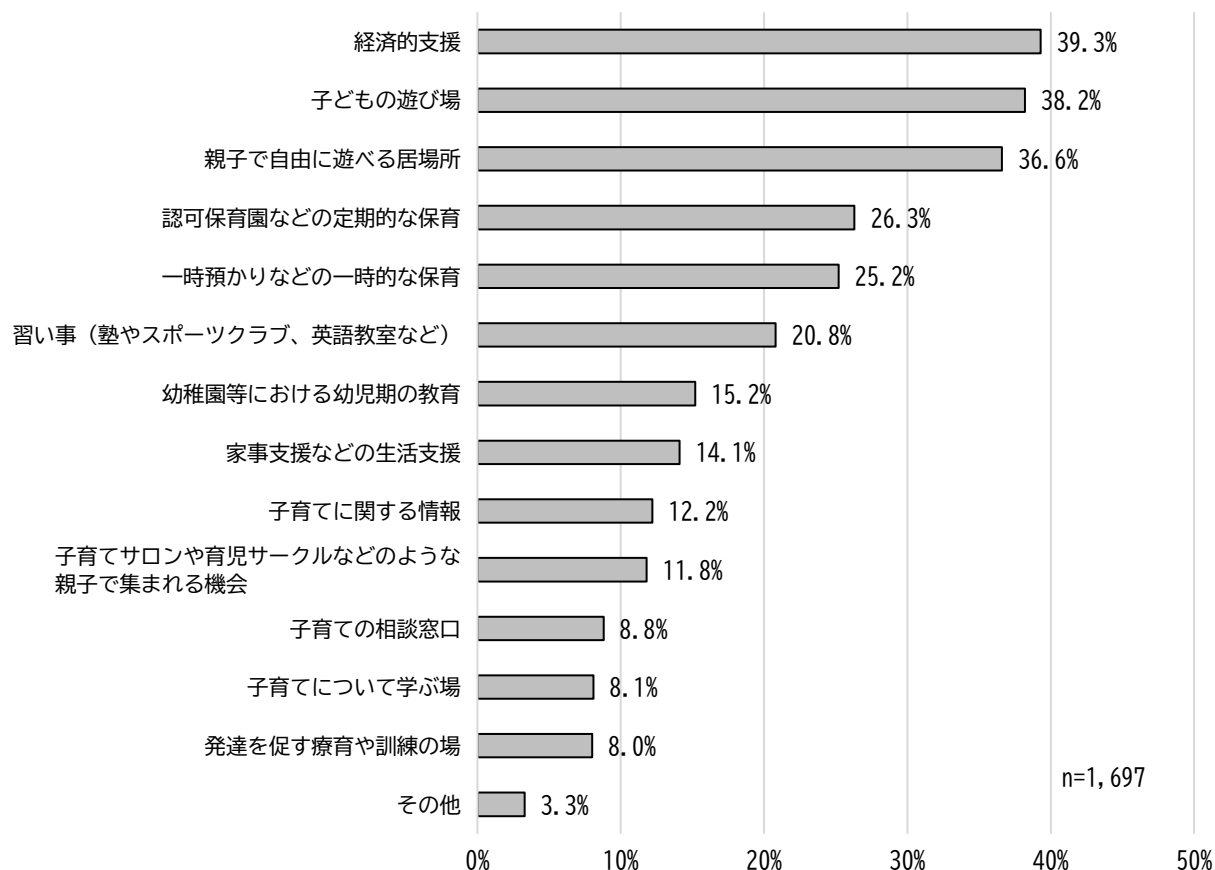
(「その他」の主な内容)

- ・孤独を感じる、大人として閉鎖的な環境にいると感じる。
- ・就学後いつまで学童に入れるのか。
- ・子供の遊び場や一次預かりなどの施設が少ない。

など、全 25 件

問 13 あて名のお子さんの子育てを行う上で、必要と思われることは何ですか。(3 つまで選択可)

子育てを行う上で、必要だと思うことについては、「経済的支援」が 39.3%で最も高く、次いで「子どもの遊び場」が 38.2%、「親子で自由に遊べる居場所」が 36.6%となっています。



（「その他」の主な内容）

- ・病児保育の拡充
- ・土日でも預けることができる場所
- ・職場の理解

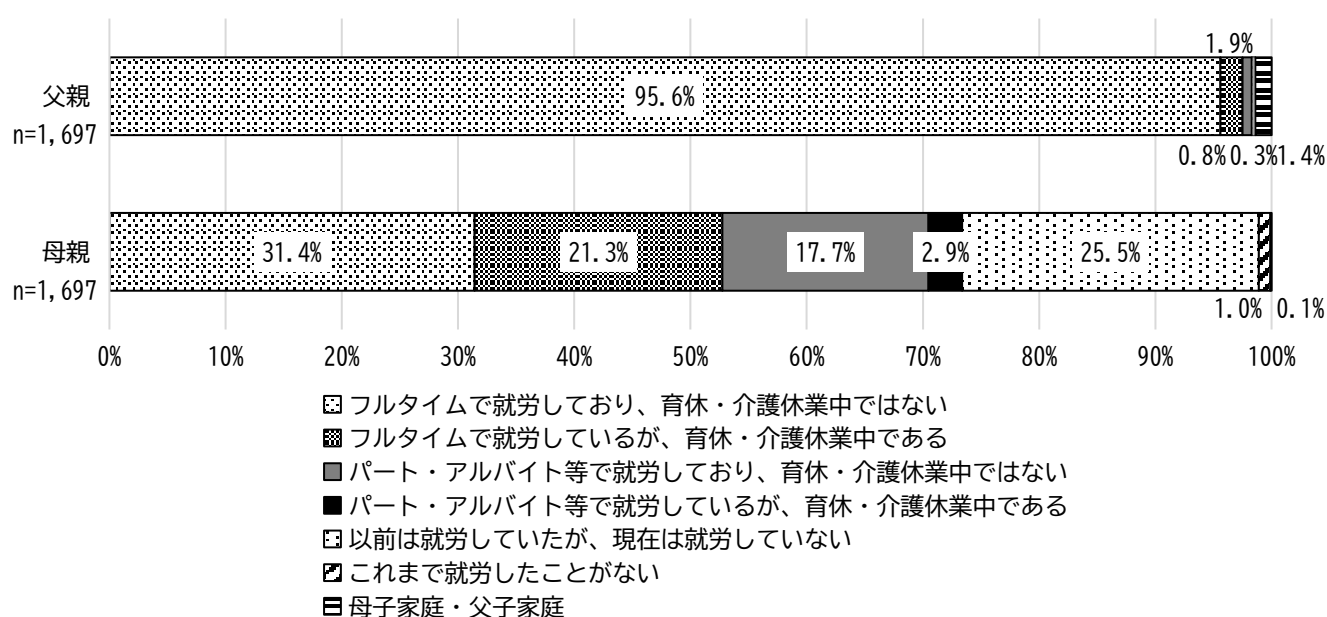
など、全 55 件

4. 保護者の方の就労状況について

問 14 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。父親・母親それぞれについてお答えください。

父親の現在の就労状況については、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が 95.6%で最も高く、次いで「フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である」が 1.9%、「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない」が 0.8%となっています。

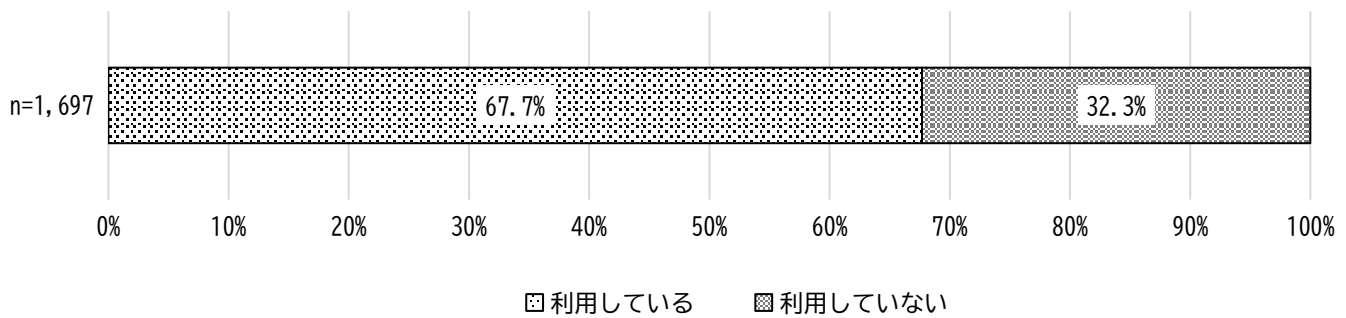
母親の現在の就労状況については、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が 31.4%で最も高く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 25.5%、「フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である」が 21.3%となっています。



5. 平日の定期的な認定こども園・保育園・幼稚園等の利用について

問 15 あて名のお子さんは現在、認定こども園や保育園、幼稚園などの「定期的な教育・保育の事業」を利用していますか。(1 つ選択)

現在の定期的な教育・保育事業の利用状況については、「利用している」が 67.7%、「利用していない」が 32.3%となっています。

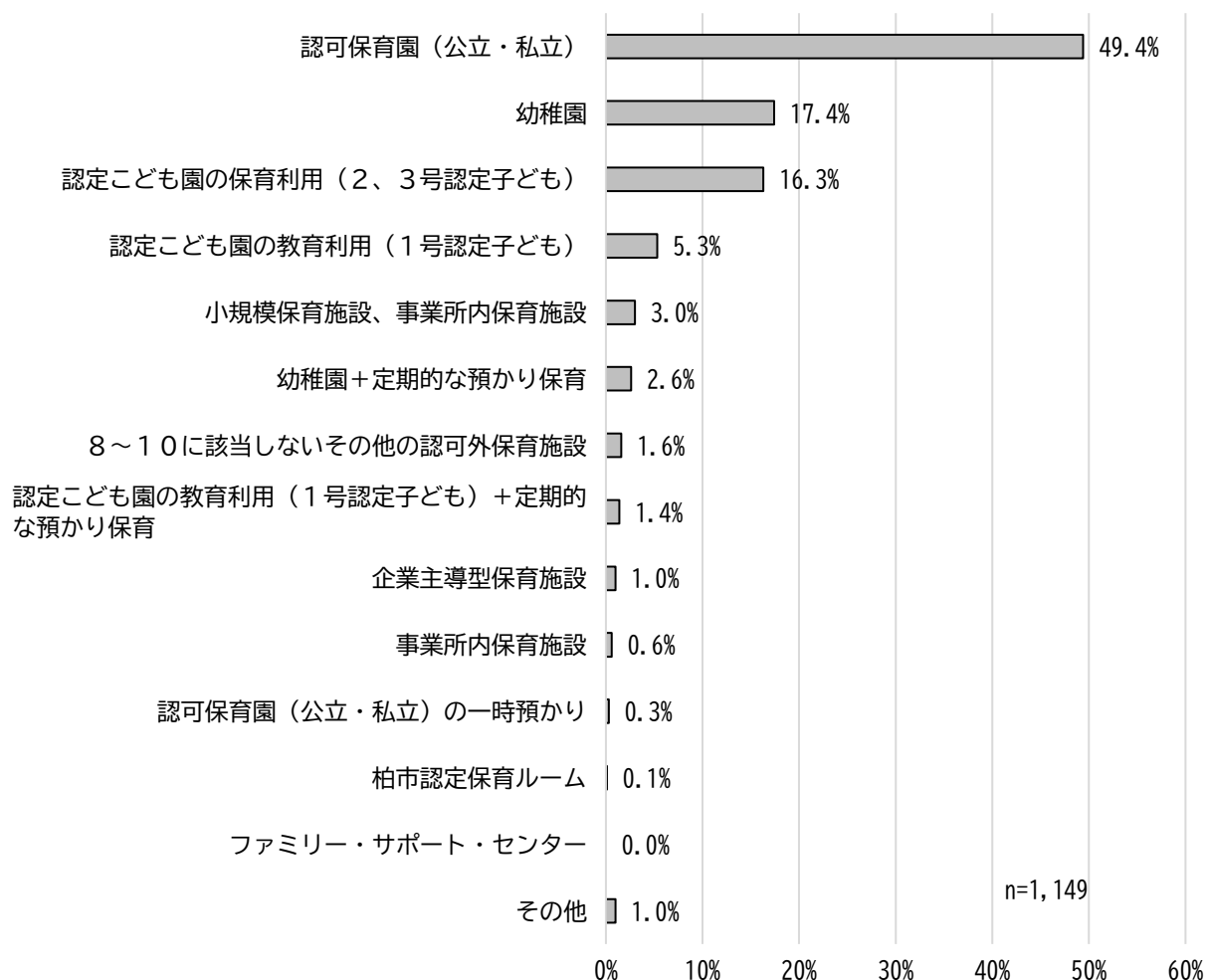


問 15-1 問 15 で「1. 利用している」と回答した方にうかがいます。

あて名のお子さんは、平日どのような事業を利用していますか。同封の別紙「子育てに関わる施設や事業の説明」を参考にお答えください。また、その現在の利用日数・時間と希望する利用日数・時間、所在地をお答えください。（主に利用しているものを1つ選択）

（1）主に利用している事業

主に利用している事業については、「認可保育園（公立・私立）」が 49.4%で最も高く、次いで「幼稚園」が 17.4%、「認定こども園の保育利用（2、3号認定子ども）」が 16.3%となっています。



（「その他」の主な内容）

- ・ 認可外保育園
- ・ 病院内保育
- ・ 療育

など、全 15 件

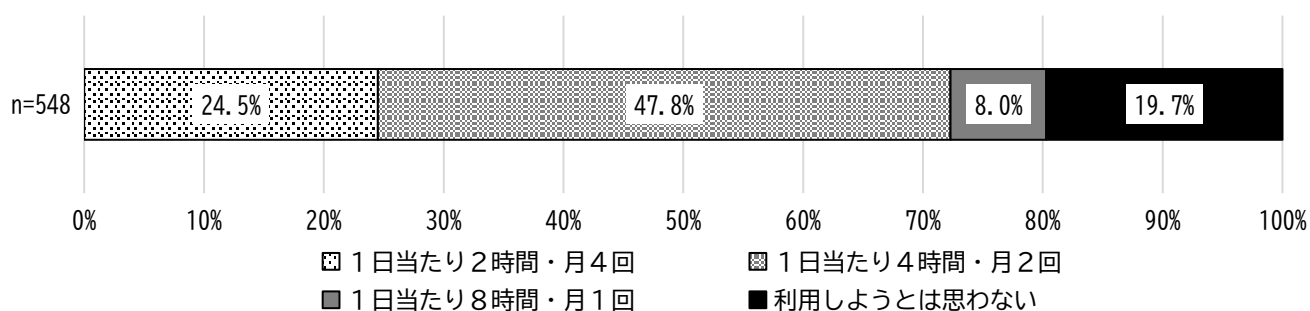
問 15-6 (1) 問 15 で「2. 利用していない」と回答した方にうかがいます。

国は、認定こども園や保育園、幼稚園などを利用していない就学前のお子さんが、月 10 時間を上限として認定こども園や保育園、幼稚園などに通園できる「こども誰でも通園制度（仮称）」の創設を検討しています。（令和 5 年 9 月時点）

月 10 時間の範囲内で利用する場合、どのような利用を希望するかお答えください。

（1 つ選択）

「こども誰でも通園制度（仮称）」を月 10 時間の範囲内で利用する場合、どのような利用を希望するかについては、「1 日当たり 4 時間・月 2 回」が 47.8%で最も高く、次いで「1 日当たり 2 時間・月 4 回」が 24.5%、「利用しようとは思わない」が 19.7%となっています。



（「その他」の主な内容）

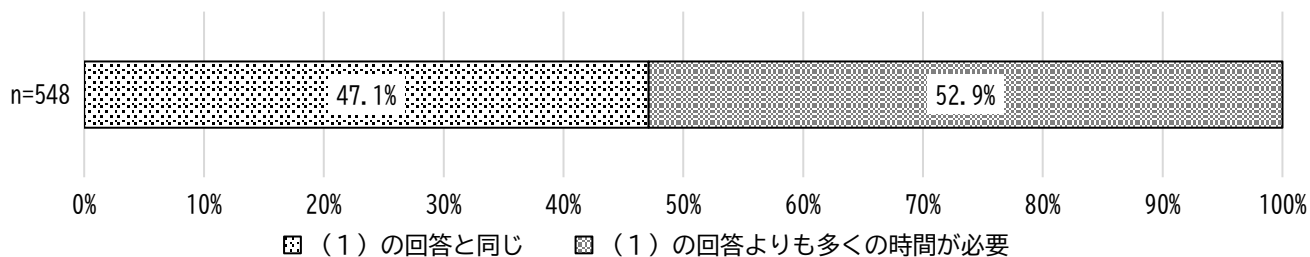
- ・利用できる時間が短いから。
- ・育休が終わり次第保育園に入れるから。
- ・必要性を感じていないから。

など、全 100 件

問 15-6 (2) 問 15 で「2. 利用していない」と回答した方にうかがいます。

国が検討している月 10 時間の上限に関わらず、あなたが必要と考える月の利用時間をお答えください。(1 つ選択)

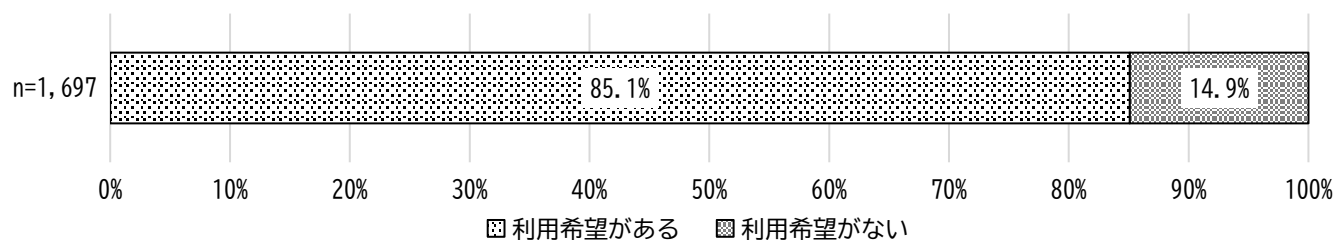
国が検討している月 10 時間の上限に関わらず、必要と考える月の利用時間については、「(1) の回答よりも多くの時間が必要」が 52.9%で最も高く、次いで「(1) の回答と同じ」が 47.1%となっています。



問 16 現在の利用の有無にかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、今後「定期的に」利用しようと考えていますか。(1つ選択)

同封の別紙「幼児教育の無償化について」をよくお読みいただいたうえでお答えください。

教育・保育事業の今後の利用希望については、「利用希望がある」が85.1%、「利用希望がない」が14.9%となっています。

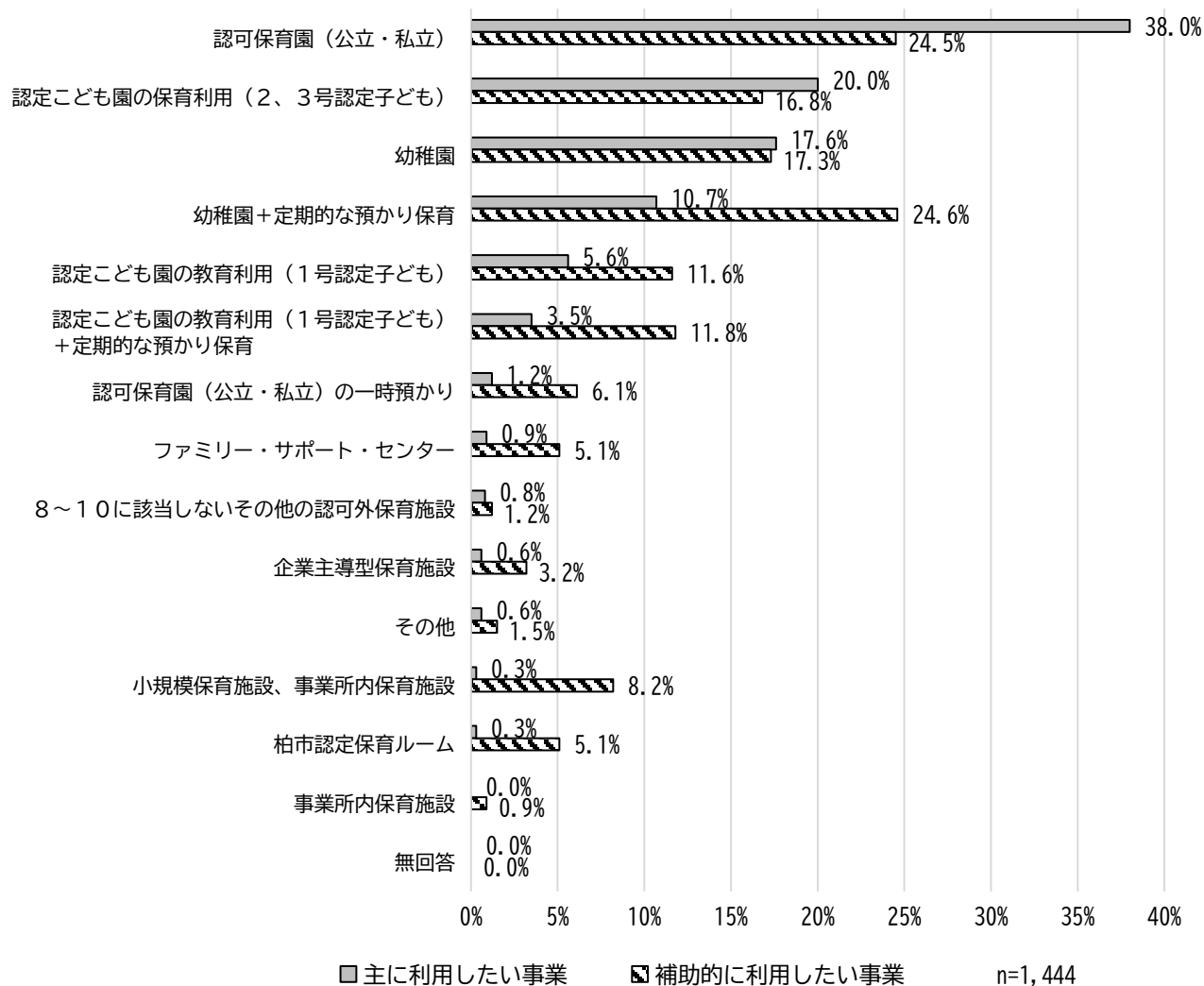


問 16-1 問 16 で「1. 利用希望がある」と回答した方にうかがいます。

利用しようと考えている事業はどれですか。(1 つ選択)

主に利用したい事業については、「認可保育園（公立・私立）」が 38.0%で最も高く、次いで「認定こども園の保育利用（2、3号認定子ども）」が 20.0%、「幼稚園」が 17.6%となっています。

補助的に利用したい事業については、「幼稚園＋定期的な預かり保育」が 24.6%で最も高く、次いで「認可保育園（公立・私立）」が 24.5%、「幼稚園」が 17.3%となっています。



（「その他」の主な内容）

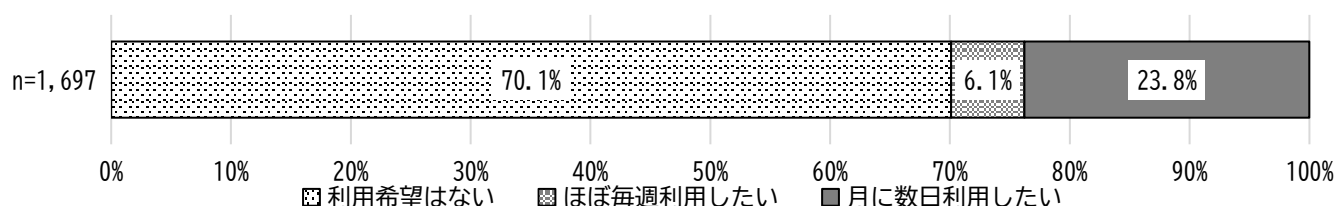
- ・どれも現実的ではないから、仕事を辞めるか変えるしかない。
- ・家庭保育
- ・療育

など、全3件

6. 土曜・休日や夏休み・冬休みなどの定期的な認定こども園・保育園・幼稚園等の利用について

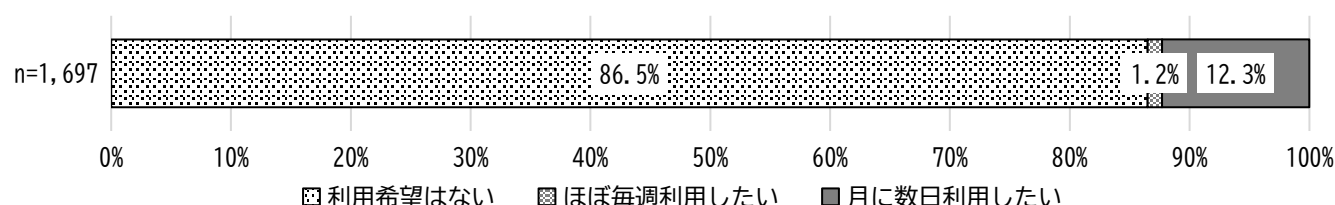
問 17 (1) あて名のお子さんについて、土曜日に、定期的な認定こども園・保育園・幼稚園等の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。（1 つ選択）
 「2. ほぼ毎週利用したい」、「3. 月に数日利用したい」を選択した方は、利用したい時間帯、利用したい理由についてもお答えください。

土曜日の利用希望については、「利用希望はない」が 70.1%で最も高く、次いで「月に数日利用したい」が 23.8%、「ほぼ毎週利用したい」が 6.1%となっています。



問 17 (2) あて名のお子さんについて、日曜・祝日に、定期的な認定こども園・保育園・幼稚園等の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。（1 つ選択）
 「2. ほぼ毎週利用したい」、「3. 月に数日利用したい」を選択した方は、利用したい時間帯、利用したい理由についてもお答えください。

日曜・祝日の利用希望については、「利用希望はない」が 86.5%で最も高く、次いで「月に数日利用したい」が 12.3%、「ほぼ毎週利用したい」が 1.2%となっています。

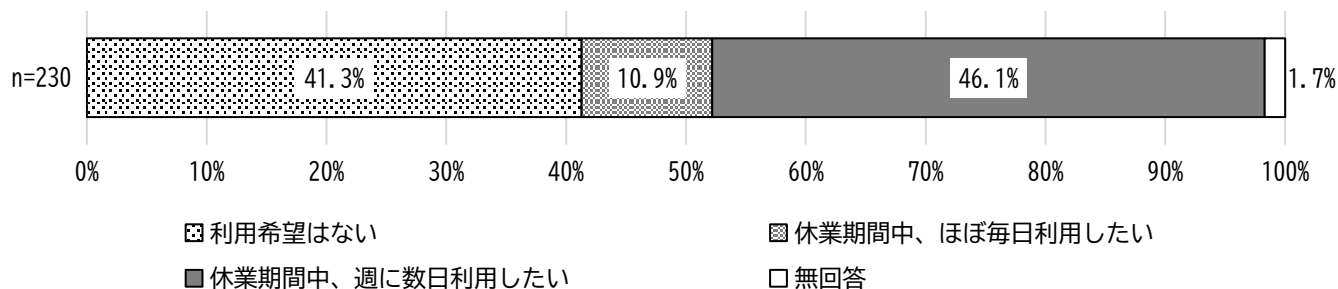


問 18 あて名のお子さんが「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。

夏休み・冬休みなど幼稚園の長期休業期間中の幼稚園や保育園等の利用希望はありますか。(1つ選択)

「2. 休業期間中、ほぼ毎日利用したい」、「3. 休業期間中、週に数日利用したい」を選択した方は、利用したい時間帯についてもお答えください。

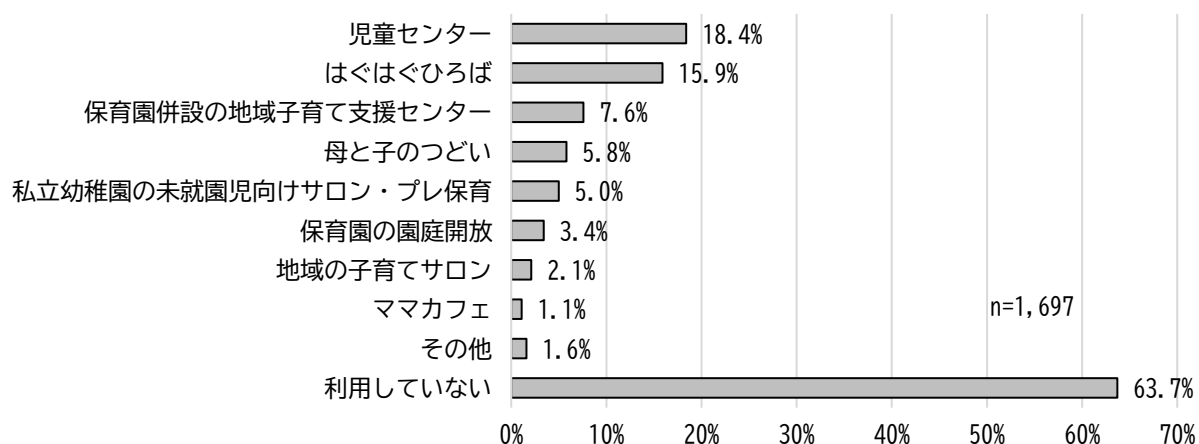
夏休み・冬休みなど幼稚園の長期休業期間中の利用希望については、「休業期間中、週に数日利用したい」が46.1%で最も高く、次いで「利用希望はない」が41.3%、「休業期間中、ほぼ毎日利用したい」が10.9%となっています。



7. 地域の子育て支援サービスの利用について

問 19 あて名のお子さんは、下記のような親子が交流や情報交換、子育て相談などができる施設や事業を利用していますか。利用している施設・事業をお答えください。（あてはまるものをすべて選択）

利用している施設・事業については、「児童センター」が 18.4%で最も高く、次いで「はぐはぐひろば」が 15.9%、「保育園併設の地域子育て支援センター」が 7.6%となっています。なお「利用していない」は 63.7%となっています。



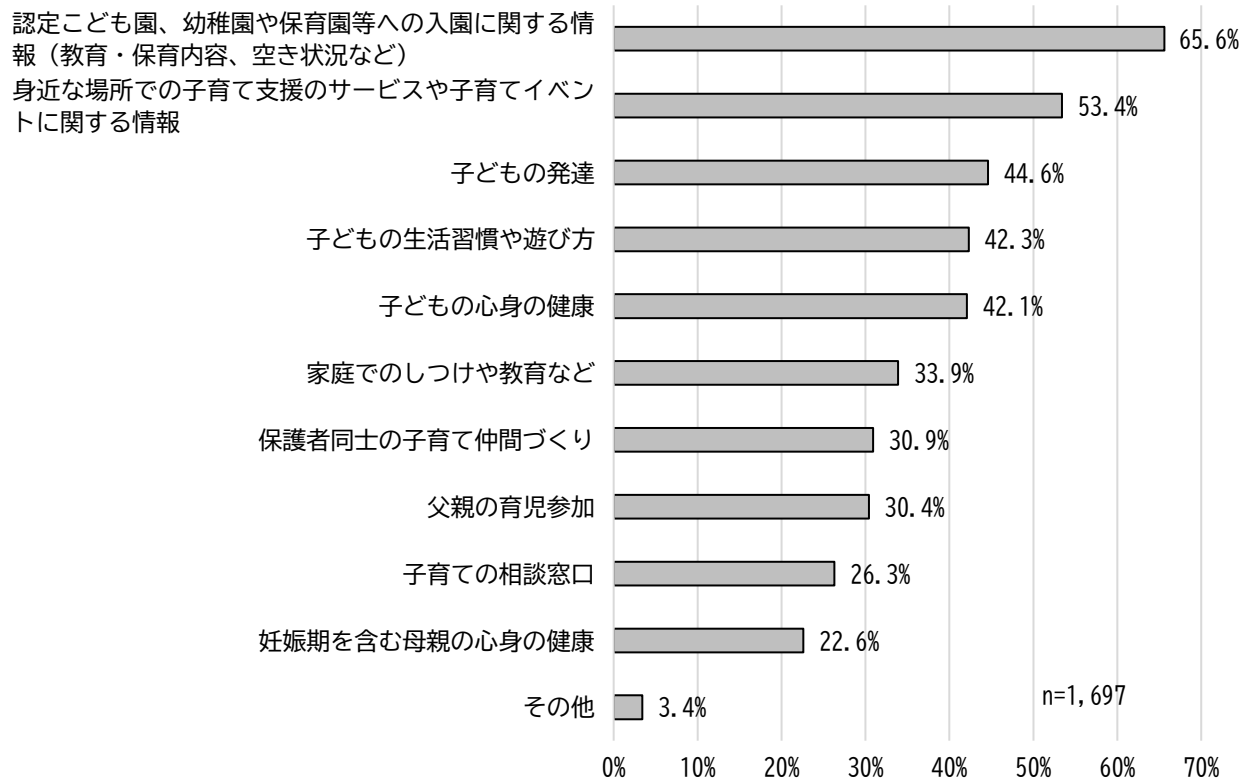
（「その他」の主な内容）

- ・いちごルーム
- ・発達支援事業所
- ・市外の児童センター

など、全 27 件

問 20 子育てについて、どのような情報が必要だと思われますか。（あてはまるものをすべて選択）

必要な情報については、「認定こども園、幼稚園や保育園等への入園に関する情報（教育・保育内容、空き状況など）」が 65.6%で最も高く、次いで「身近な場所での子育て支援のサービスや子育てイベントに関する情報」が 53.4%、「子どもの発達」が 44.6%となっています。



（「その他」の主な内容）

- ・ こども園、幼稚園等のプレ教室の情報等。
- ・ 市から出ている補助金やサービスの情報。
- ・ 子供連れにおすすめのレストランやお店情報、リフレッシュの仕方。

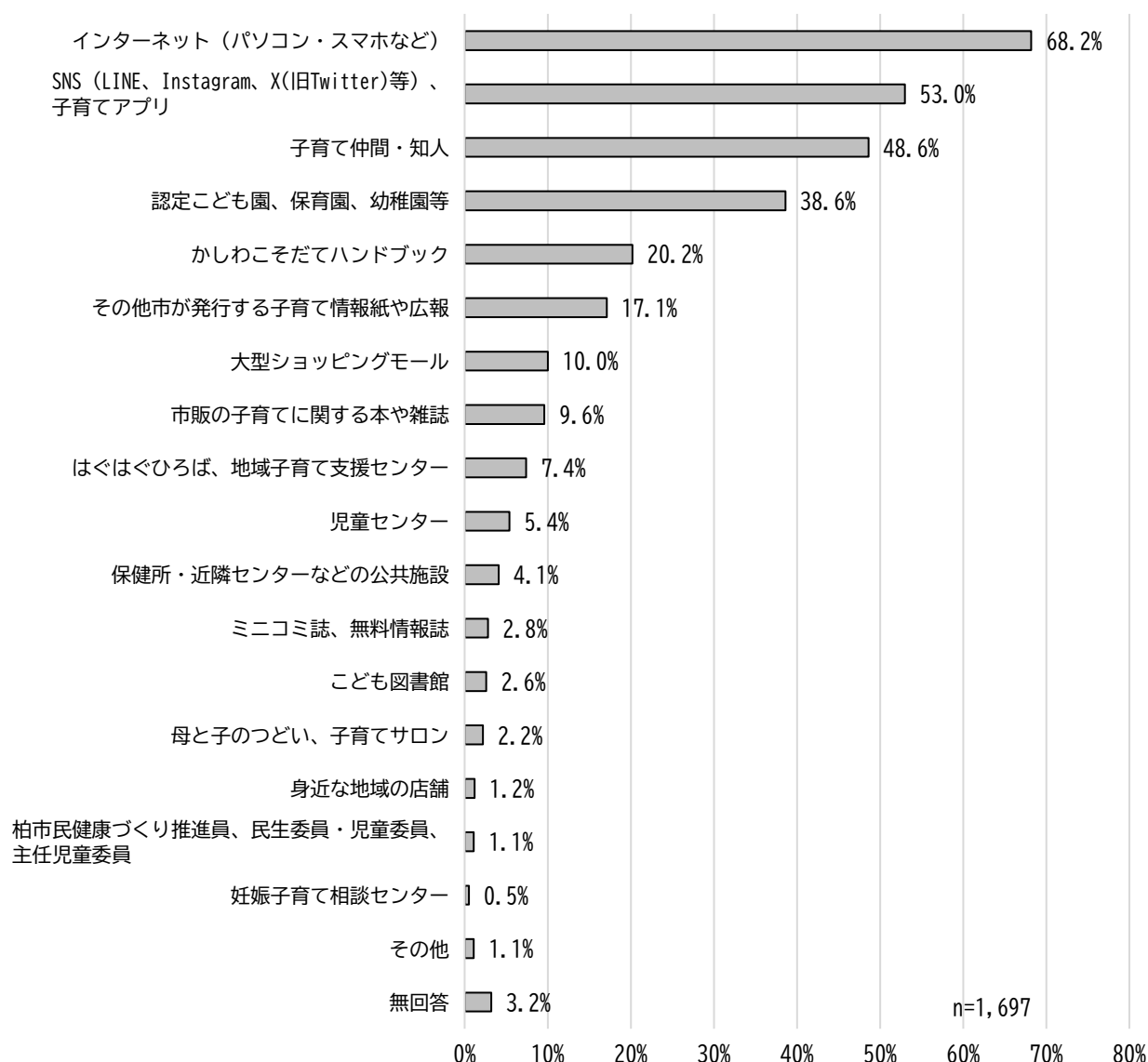
など、全 54 件

問 21 子育てに関する情報を主に何（どこ）から得ていますか。また希望としては、何（どこ）から得たいと思いますか。

現在の情報源と希望する情報源について、それぞれお答えください。（あてはまるものを3つまで選択）

（１）現在の情報源

現在の情報源については、「インターネット（パソコン・スマホなど）」が 68.2%で最も高く、次いで「SNS（LINE、Instagram、X(旧 Twitter)等）、子育てアプリ」が 53.0%、「子育て仲間・知人」が 48.6%となっています。



（「その他」の主な内容）

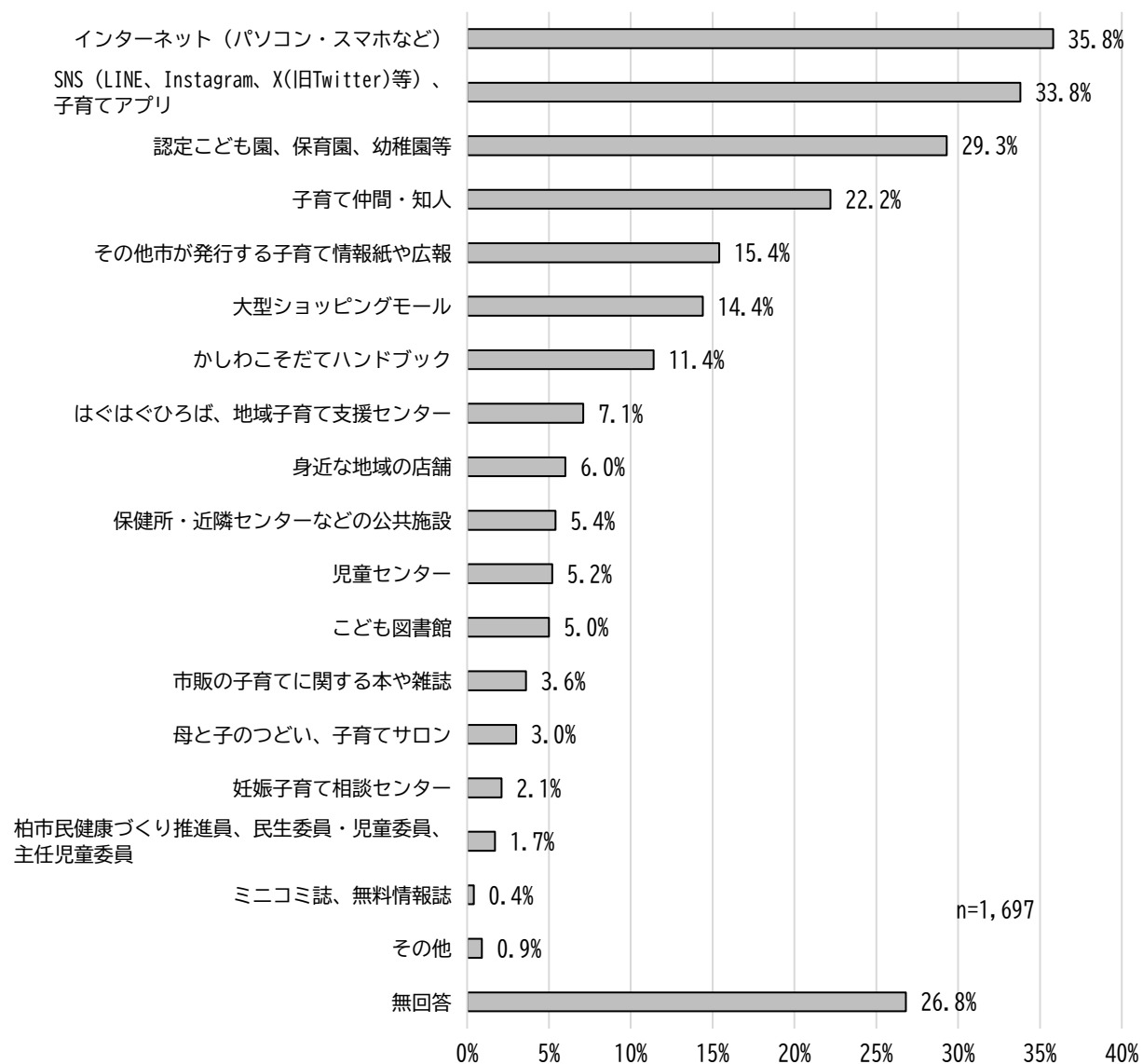
- ・親戚
- ・職場
- ・広報紙

など、全 28 件

Ⅱ 調査結果 就学前の子どもを持つ保護者

(2) 希望する情報源

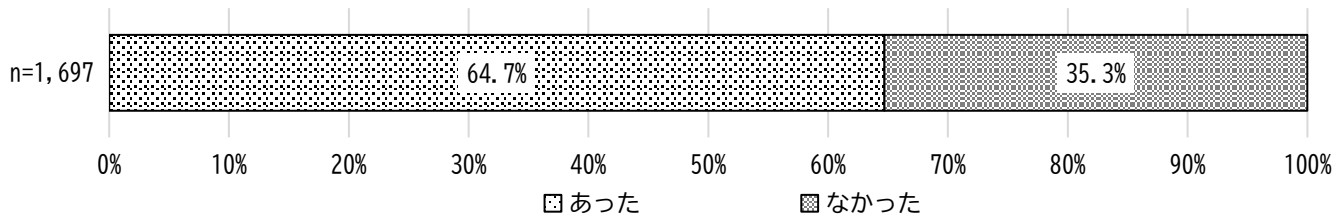
希望する情報源については、「インターネット（パソコン・スマホなど）」が 35.8%で最も高く、次いで「SNS（LINE、Instagram、X(旧Twitter)等）、子育てアプリ」が 33.8%、「認定こども園、保育園、幼稚園等」が 29.3%となっています。



8. あて名のお子さんが病気のときの対応について

問 22 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで普段利用している認定こども園・保育園・幼稚園等をお休みしたことはありますか。(1つ選択)

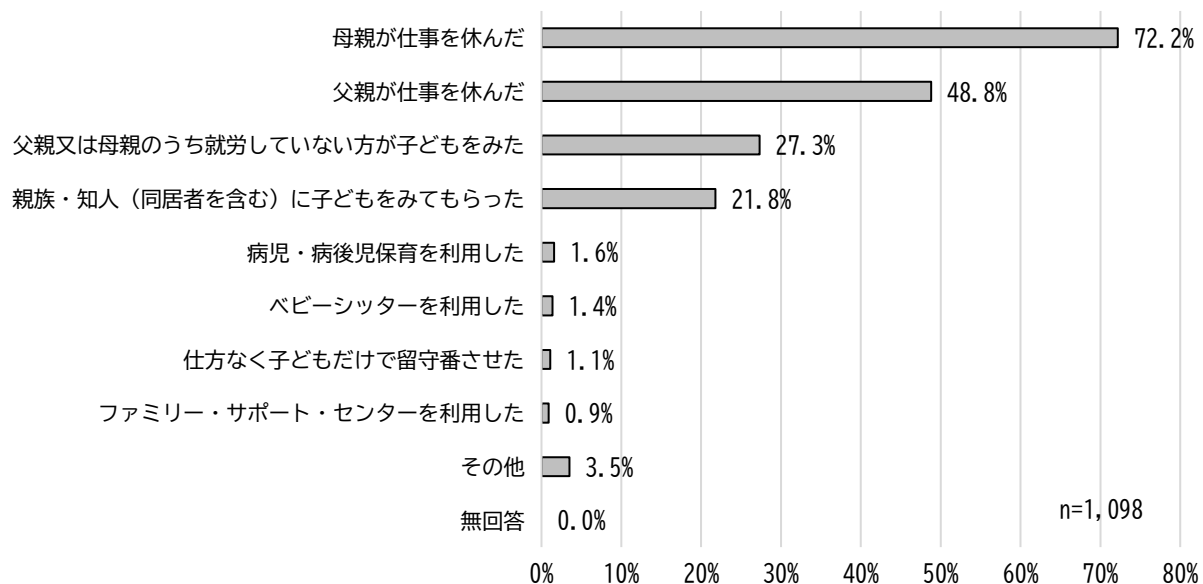
この1年間に、お子さんの病気やケガで通常の事業が利用できなかった有無については、「あった」が64.7%、「なかった」が35.3%となっています。



問 22-1 問 22 で「1. あった」と回答した方にうかがいます。

お子さんが普段利用している認定こども園・保育園・幼稚園等を利用できなかったときに、この1年間、どのように対応しましたか。(あてはまるものをすべて選択)

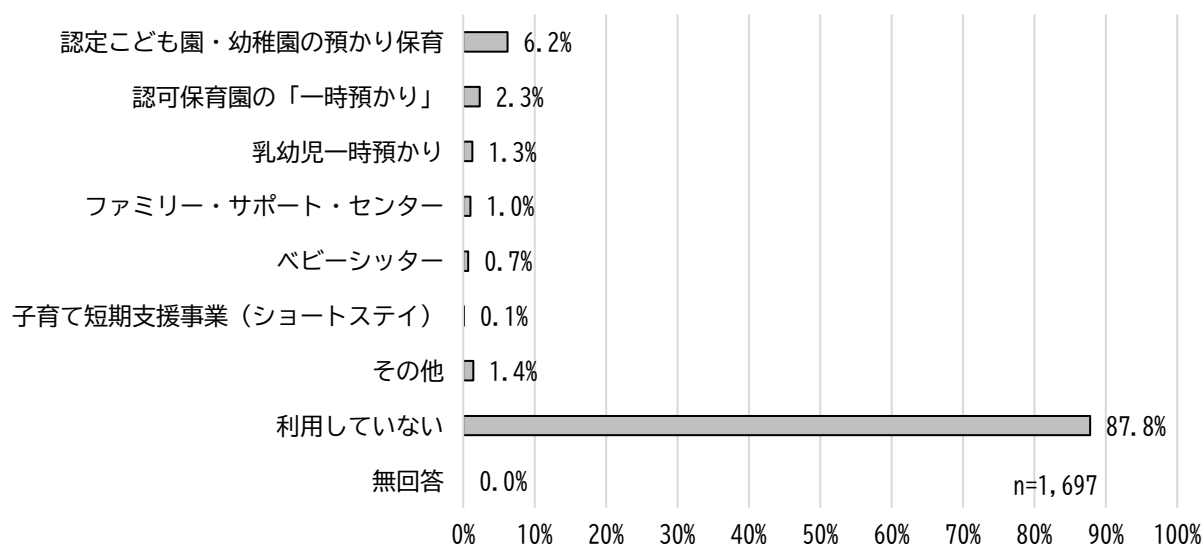
普段利用している事業が利用できなかった場合における1年間の対応方法については、「母親が仕事を休んだ」が72.2%で最も高く、次いで「父親が仕事を休んだ」が48.8%、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が27.3%となっています。



9. あて名のお子さんの一時預かり等の利用について

問 23 あて名のお子さんについて、就労以外の理由（冠婚葬祭、リフレッシュ、保護者の方の通院等）や不定期の就労で、不定期に利用している事業はありますか。（あてはまるものをすべて選択）

不定期に利用している事業については、「利用していない」が87.8%で最も高く、次いで「認定こども園・幼稚園の預かり保育」が6.2%、「認可保育園の「一時預かり」」が2.3%となっています。



（「その他」の主な内容）

- ・認可外保育所の一時預かり
- ・歯科医院の託児サービス
- ・企業が行っている一時保育

など、全13件

問 23-2 問 23-1 で「1. 利用できないことがあった」と回答した方に伺います。

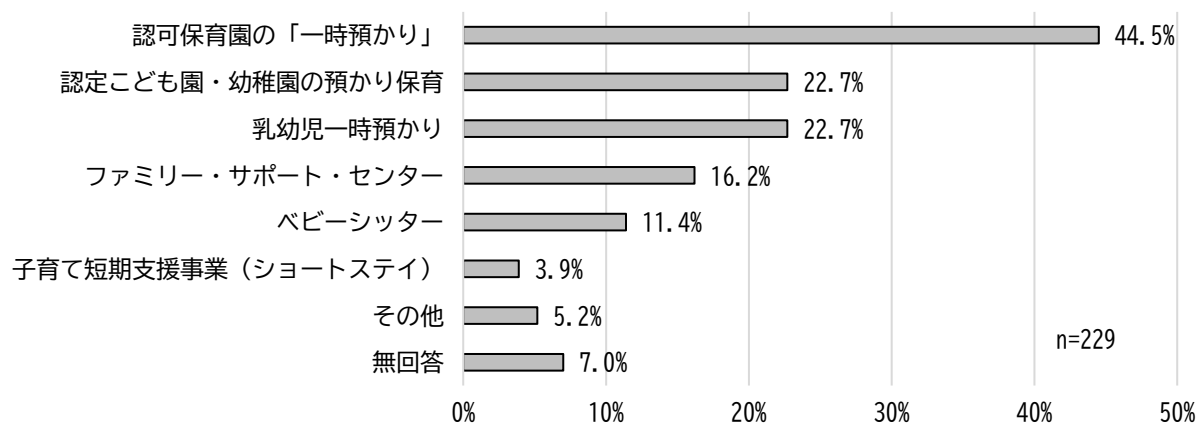
(1) 利用できなかった事業をお答えください。(あてはまるものをすべて選択)

(2) 利用できなかった理由をお答えください。(あてはまるものをすべて選択)

(3) 利用できなかった日数をお答えください。

(1) 利用できなかった事業

利用できなかった事業については、「認可保育園の「一時預かり」」が 44.5%で最も高く、次いで「認定こども園・幼稚園の預かり保育」と「乳幼児一時預かり」がともに 22.7%となっています。



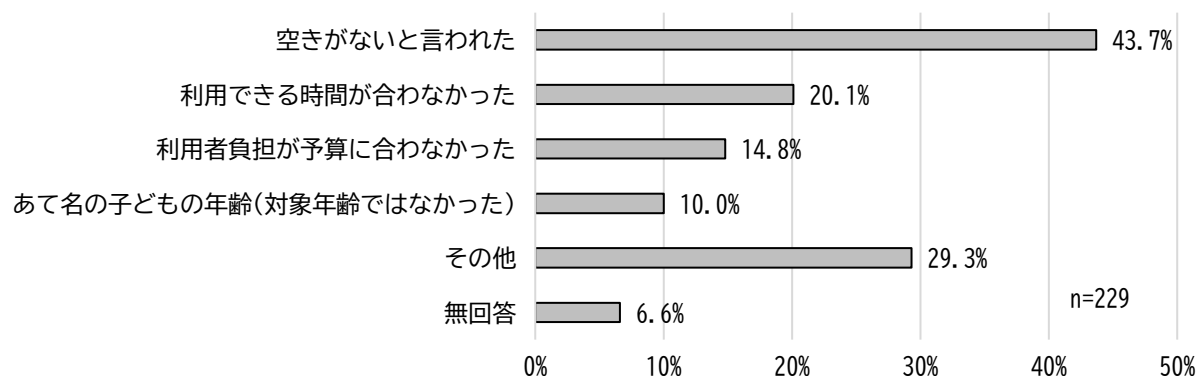
(「その他」の主な内容)

- ・ 病児保育施設
- ・ 私立保育園一時預かり
- ・ 産後ケア施設

など、全 8 件

(2) 利用できなかった理由

利用できなかった理由については、「空きがないと言われた」が 43.7%で最も高く、次いで「利用できる時間が合わなかった」が 20.1%、「利用者負担が予算に合わなかった」が 14.8%となっています。



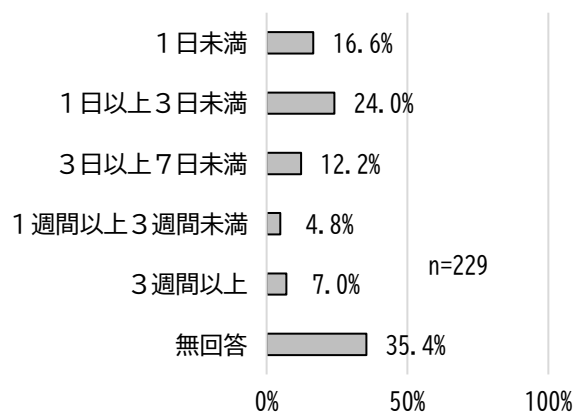
(「その他」の主な内容)

- ・コロナの影響。
- ・就労以外の預かりを拒否された。
- ・保育園に通園していると利用できないため。

など、全 67 件

(3) 利用できなかった日数

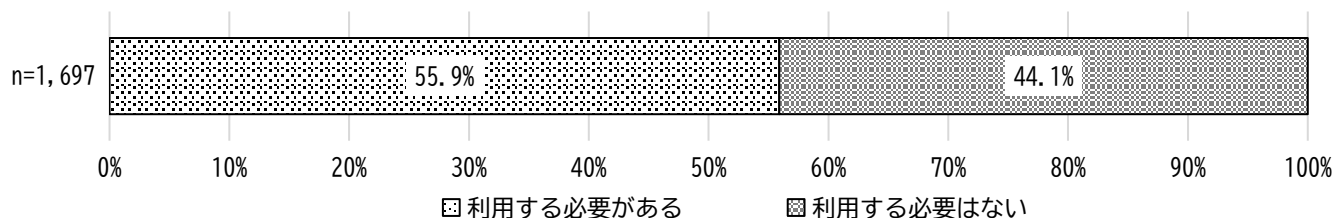
利用できなかった日数については、「1日以上3日未満」が 24.0%で最も高く、次いで「1日未満」が 16.6%、「3日以上7日未満」が 12.2%となっています。



問 24 あて名のお子さんについて、就労以外の理由（冠婚葬祭、リフレッシュ、保護者の通院等）や不定期の就労で、年間何日くらい事業（問 23 の 1～7 の事業）を利用する必要があると思いますか。※事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。（1 つ選択）

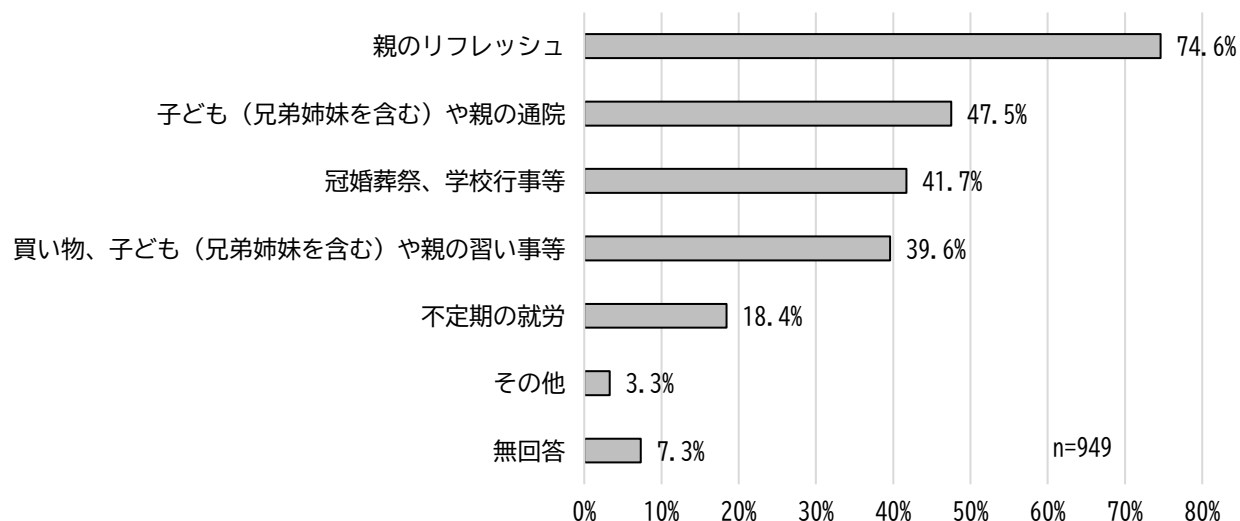
（１）事業の利用希望

事業の利用希望については、「利用する必要がある」が 55.9%、「利用する必要はない」が 44.1%となっています。



（２）利用目的

利用目的については、「親のリフレッシュ」が 74.6%で最も高く、次いで「子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院」が 47.5%、「冠婚葬祭、学校行事等」が 41.7%となっています。



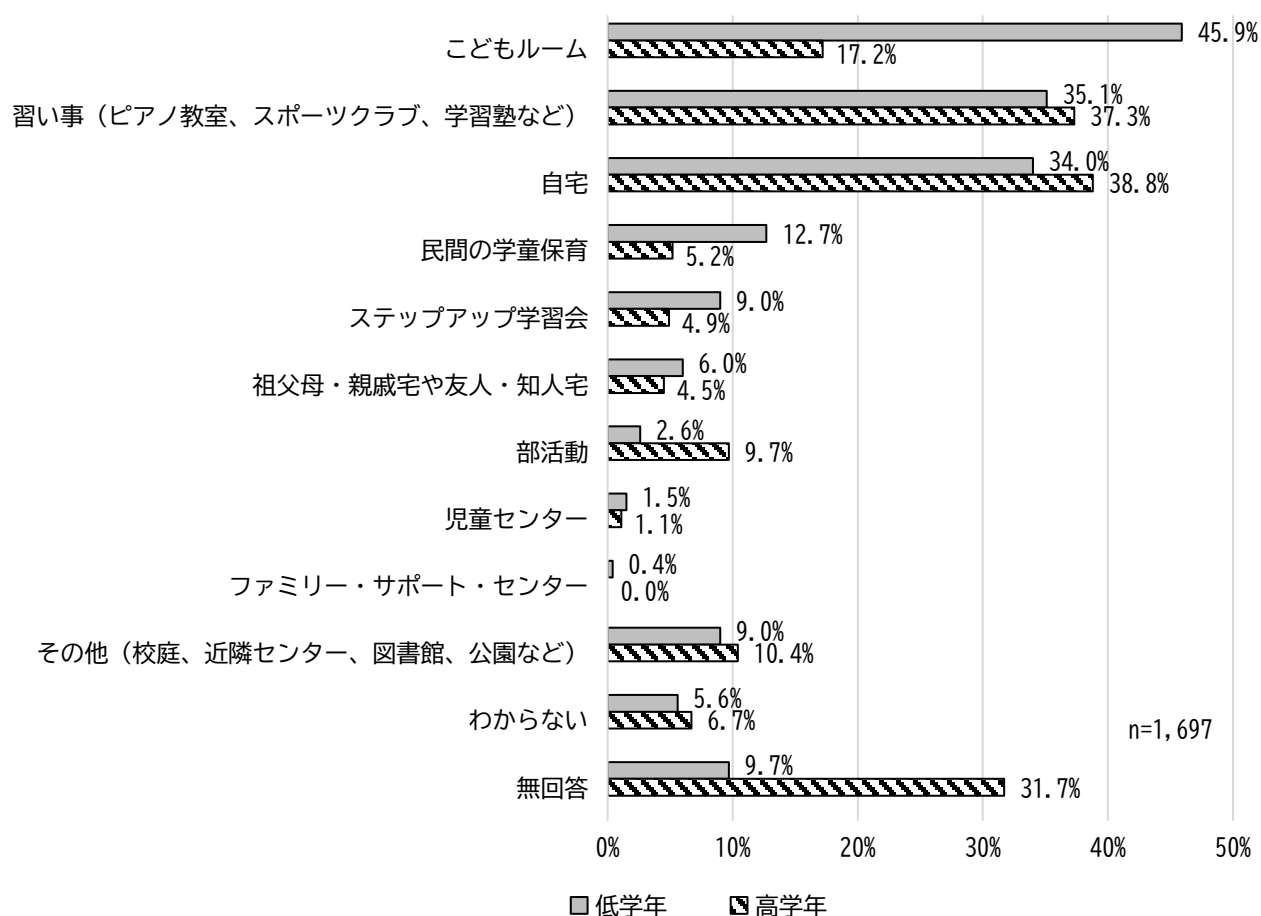
10. あて名のお子さんの放課後の過ごし方について ※5歳以上が対象

問 26 あて名のお子さんが小学校入学後、放課後（平日の授業終了後）の時間を、どのような場所で、どのくらい過ごさせたいと思いますか。

低学年（1～3年生）、高学年（4～6年生）のそれぞれについて、過ごさせたい場所の欄に過ごさせたい日数をご記入ください。

※こどもルームの利用には、一定の利用者負担が発生します。

希望する放課後の過ごし方については、『低学年』では、「こどもルーム」が45.9%で最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）」が35.1%、「自宅」が34.0%となっています。『高学年』では、「自宅」が38.8%で最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）」が37.3%、「こどもルーム」が17.2%となっています。



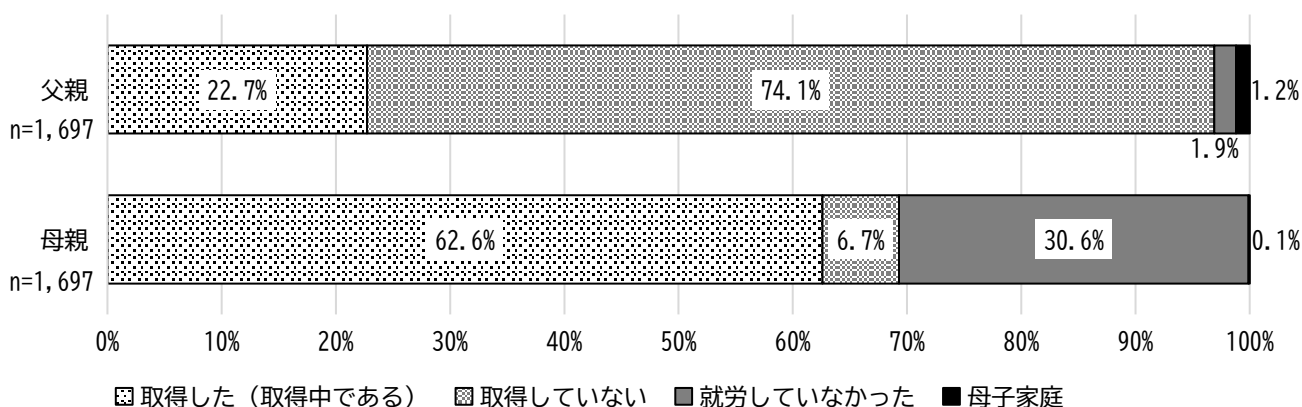
11. 育児休業の取得状況などについて

問 27 あて名のお子さんが生まれたとき、育児休業を取得しましたか。また、取得していない方はその理由をお答えください。(1つ選択)

(1) 育児休業の取得状況

父親の育児休業の取得状況については、「取得していない」が74.1%で最も高く、次いで「取得した（取得中である）」が22.7%、「就労していなかった」が1.9%となっています。

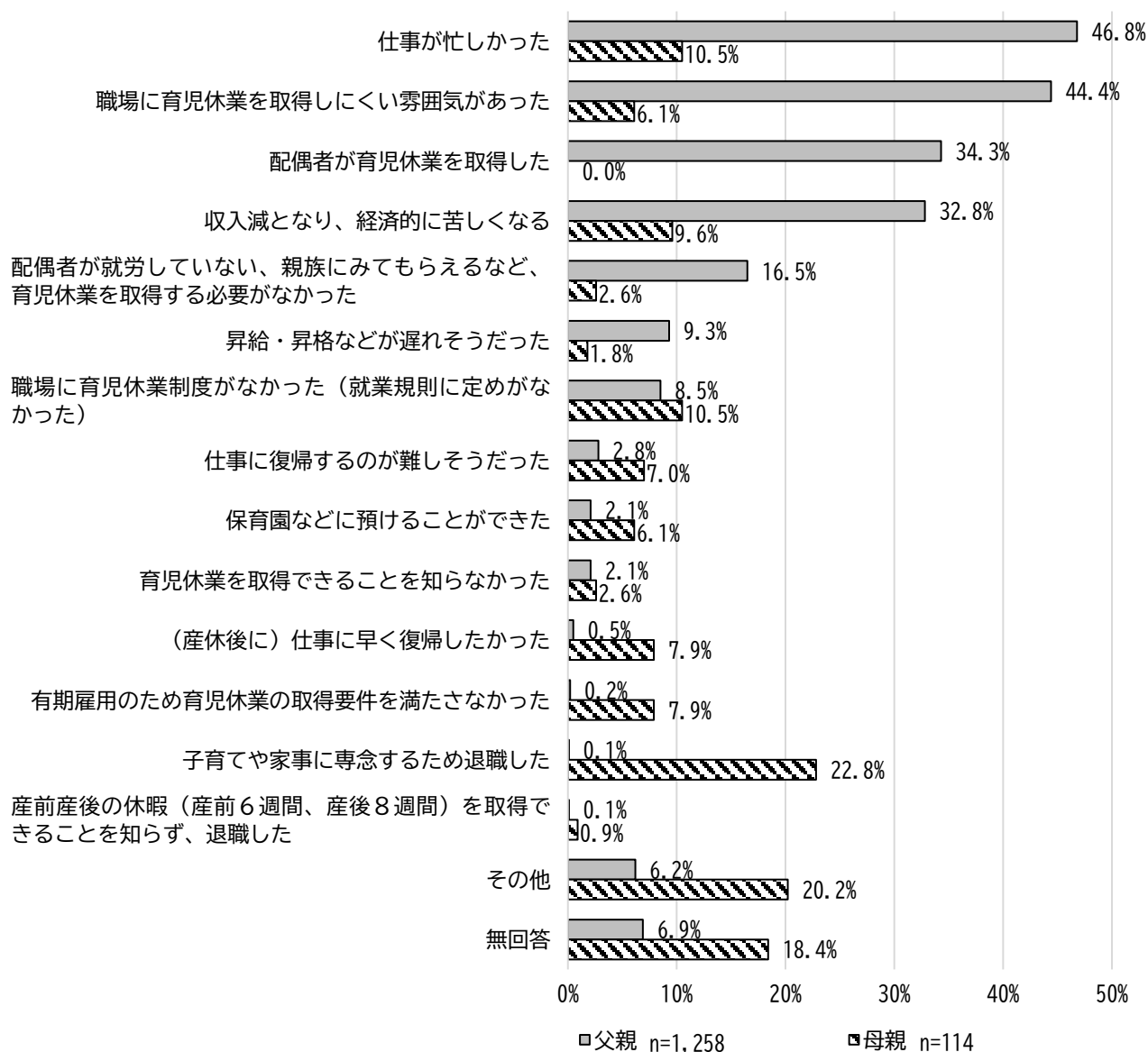
母親の育児休業の取得状況については、「取得した（取得中である）」が62.6%で最も高く、次いで「就労していなかった」が30.6%、「取得していない」が6.7%となっています。



(2) 育児休業を取得していない理由

父親が育児休業を取得していない理由については、「仕事が忙しかった」が46.8%で最も高く、次いで「職場に育児休業を取得しにくい雰囲気があった」が44.4%、「配偶者が育児休業を取得した」が34.3%となっています。

母親が育児休業を取得していない理由については、「子育てや家事に専念するため退職した」が22.8%で最も高く、次いで「その他」が20.2%、「仕事が忙しかった」と「職場に育児休業制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」がそれぞれ10.5%となっています。



Ⅱ 調査結果 就学前の子どもを持つ保護者

(その他の主な内容)

●父親

- ・在宅勤務をしていたため。
- ・自営業のため。
- ・有給休暇を利用したため。

など、全 75 件

●母親

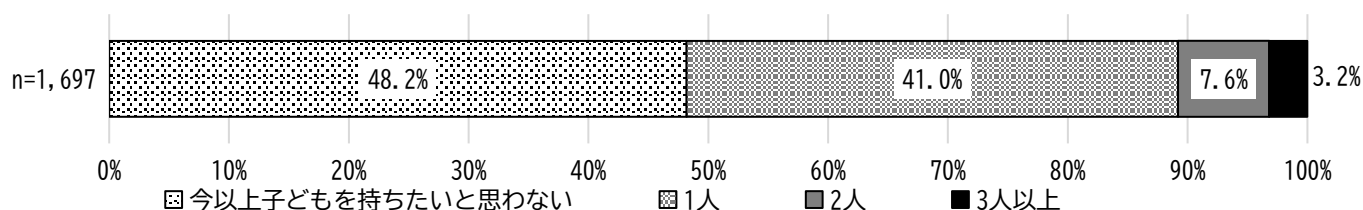
- ・自営業のため。
- ・すでに専業主婦だったため。
- ・就労時間を柔軟にできたので、夫と対応できたため。

など、全 22 件

12. 理想の人数のお子さんを育てるために必要な支援について

問 28 現在養育されているお子さんの他に、これからお子さんを持ちたいと思いますか（条件が合えば持ちたいと思う場合を含む）。持ちたいと思われる場合は、あと何人お子さんを持ちたいと思いますか。（1つ選択）

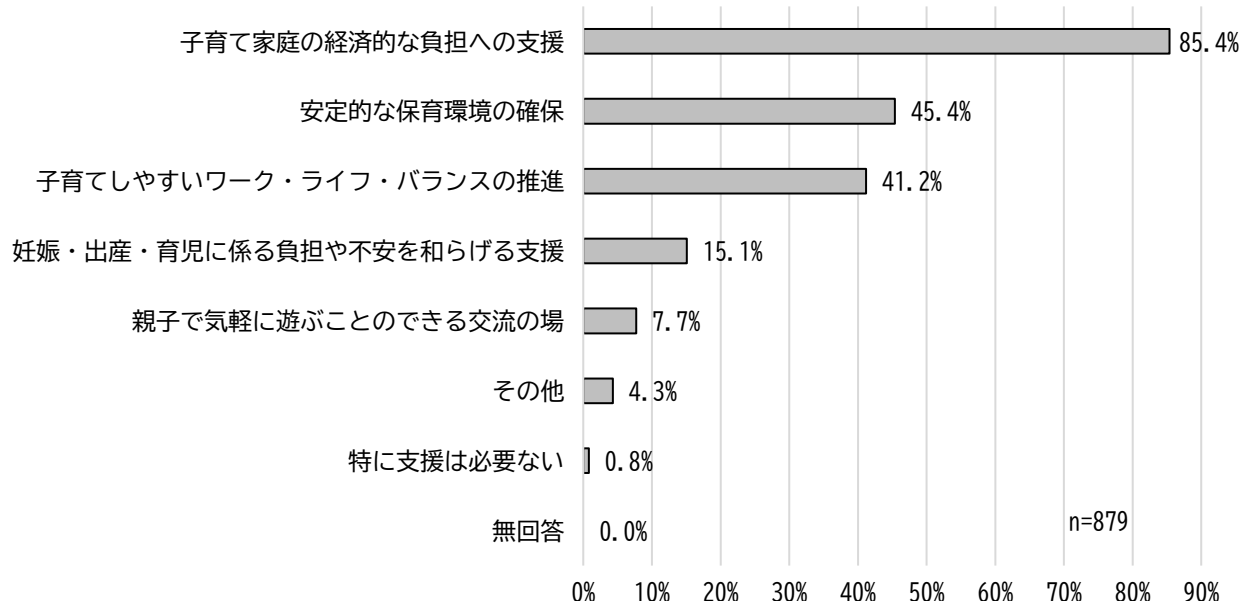
現在養育されているお子さんの他に、これからお子さんを持ちたいと思うかについては、「今以上子どもを持ちたいと思わない」が48.2%で最も高く、次いで「1人」が41.0%、「2人」が7.6%となっています。



問 28-1 問 28 で「2. 1人、3. 2人、4. 3人以上」と回答した方にうかがいます。

これからお子さんを持つために必要だと思われる支援・条件をお答えください。（2つ選択）

これからお子さんを持つために必要だと思われる支援・条件については、「子育て家庭の経済的な負担への支援」が85.4%で最も高く、次いで「安定的な保育環境の確保」が45.4%、「子育てしやすいワーク・ライフ・バランスの推進」が41.2%となっています。



（「その他」の主な内容）

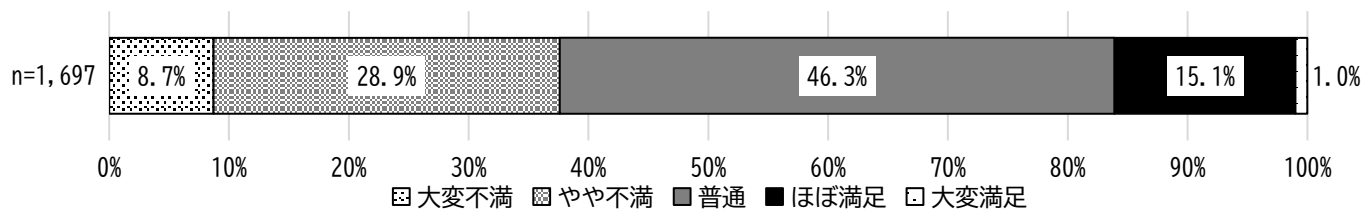
- ・不妊治療に対する補助
- ・医療費無償
- ・高校、大学など将来かかる費用の補助

など、全 37 件

13. 子育てあるいは子育て支援全般について

問 29 柏市での子育ての環境や支援への満足度とその理由をお答えください。(1 つ選択)

柏市での子育ての環境や支援への満足度とその理由については、「普通」が 46.3%で最も高く、次いで「やや不満」が 28.9%、「ほぼ満足」が 15.1%となっています。



Ⅲ 調査結果 就学児（小学生）の保護者

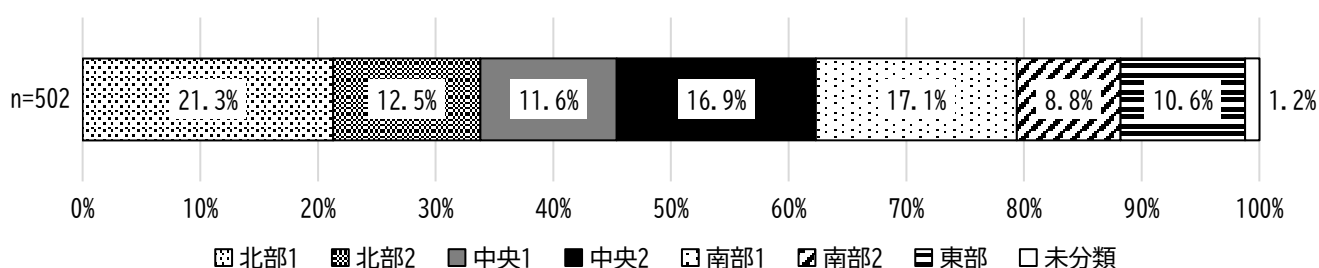
1. あて名のお子さんご家族について

問1 お通いの小学校をお答えください。

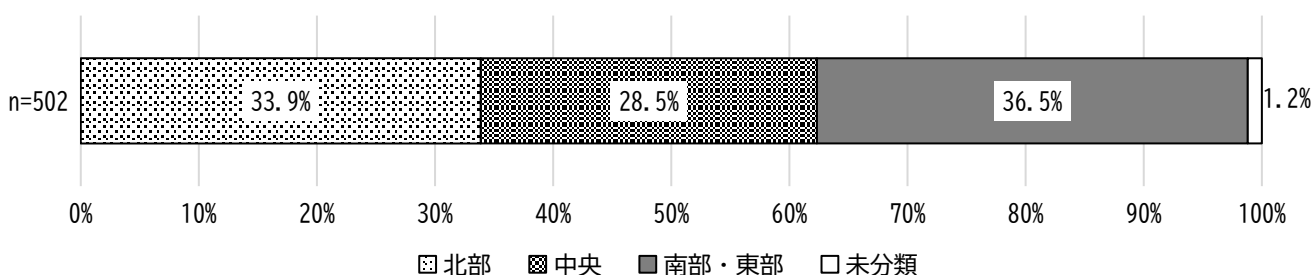
調査票に記入された小学校より、7地域に分類した結果は、「北部1」が21.3%で最も高く、次いで「南部1」が17.1%、「中央2」が16.9%となっています。

教育・保育提供区域別でみると、「南部・東部区域」が36.5%で最も高く、次いで「北部区域」が33.9%、「中央区域」が28.5%となっています。

【7地域分】

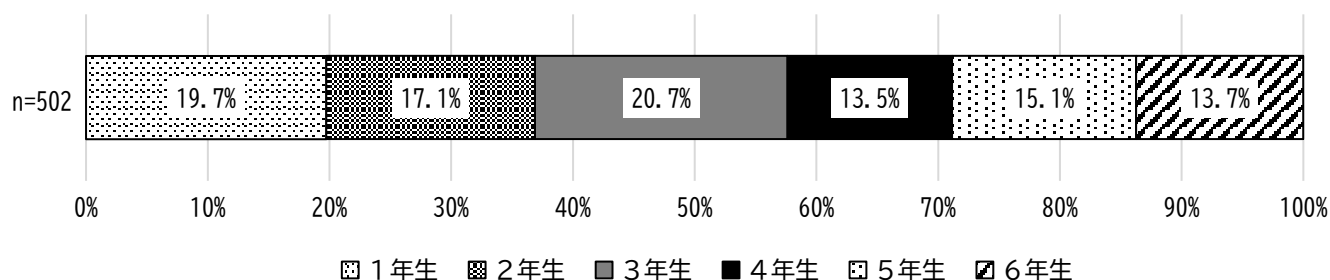


【教育・保育提供区域別】



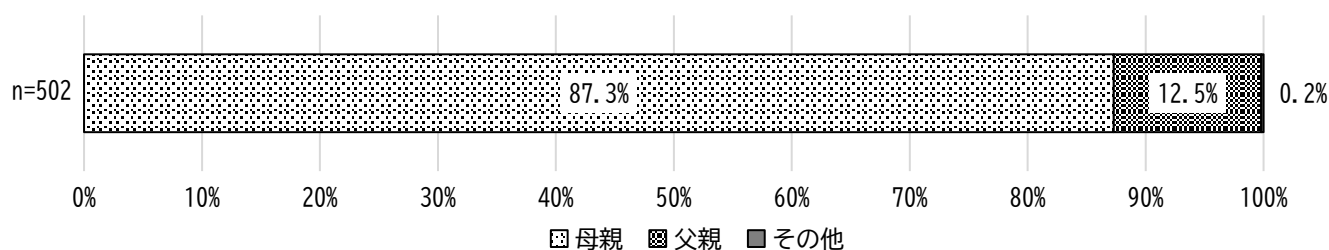
問2 お子さんの現在の学年をお答えください。(1つ選択)

お子さんの学年については、「3年生」が20.7%で最も高く、次いで「1年生」が19.7%、「2年生」が17.1%となっています。



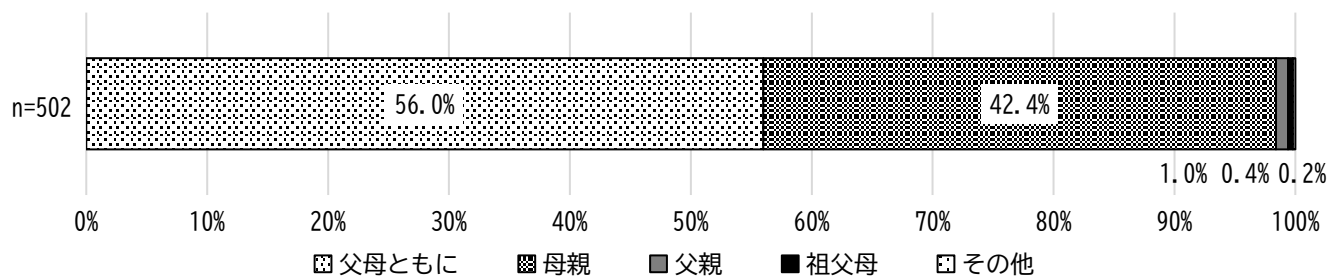
問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。(1つ選択)

調査票への回答者については、「母親」が87.3%で最も高く、次いで「父親」が12.5%となっています。



問6 お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。(1つ選択)

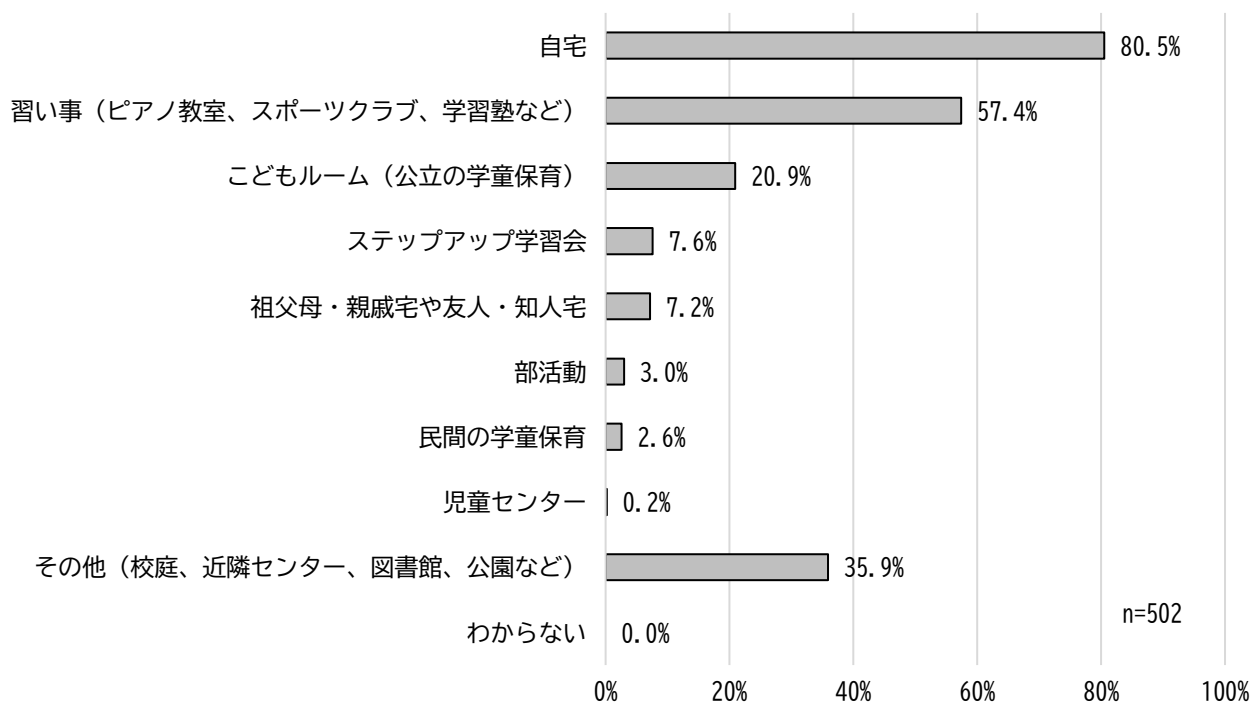
お子さんの子育てを主にしている方については、「父母ともに」が56.0%で最も高く、次いで「母親」が42.4%、「父親」が1.0%となっています。



2. あて名のお子さんの放課後の過ごし方について

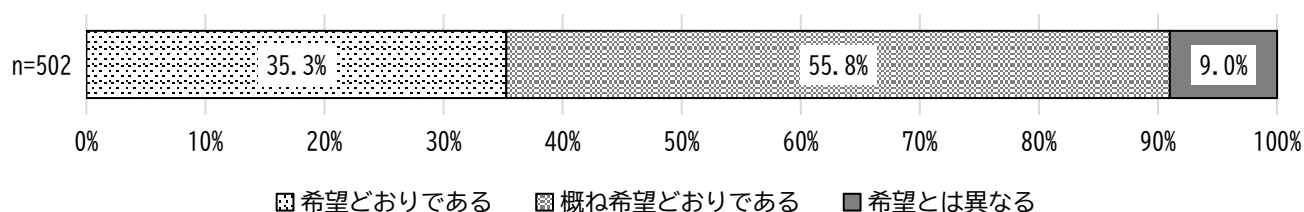
問7 お子さんについて、現在、放課後（平日の授業終了後）の時間を、どのような場所で過ごしていますか。過ごしている場所をすべて選んでください。（あてはまるものをすべて選択）

現在、放課後（平日の授業終了後）の時間を、どのような場所で過ごしているかについては、「自宅」が80.5%で最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）」が57.4%、「その他（校庭、近隣センター、図書館、公園など）」が35.9%となっています。



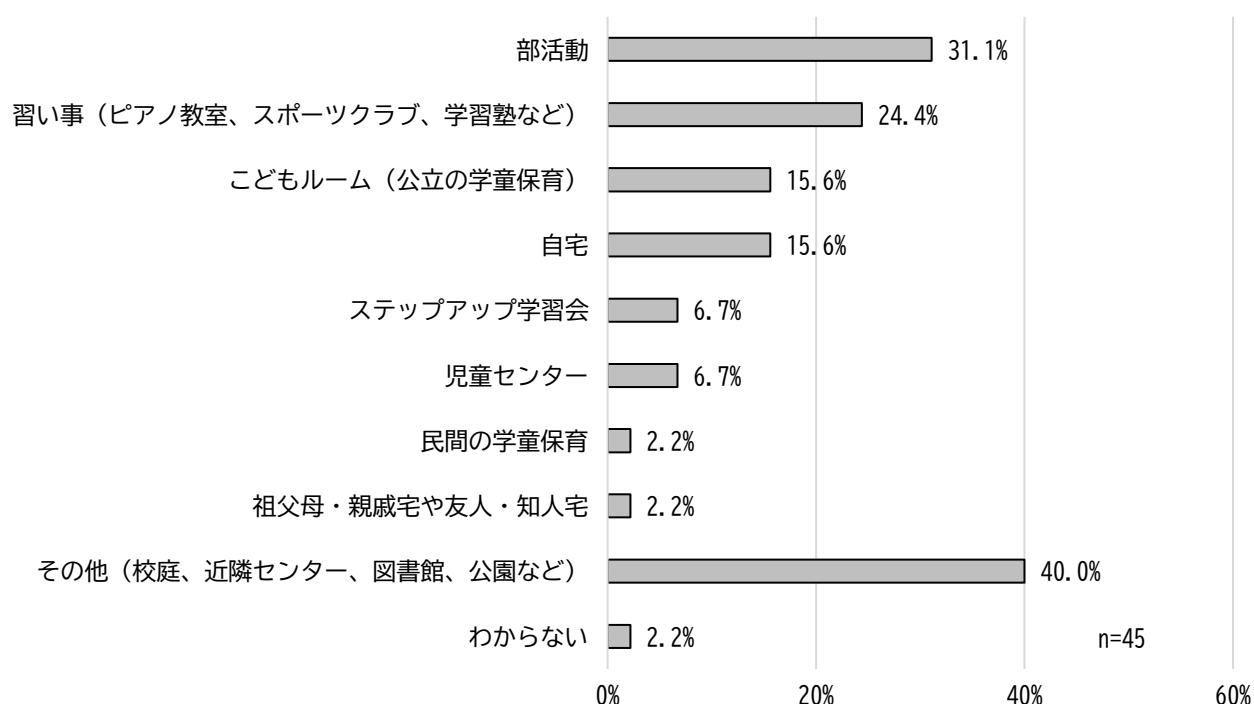
問 8 問 7 で回答した、現在の放課後の過ごし方は、回答いただいている方にとって希望している放課後の過ごし方となっていますか。（1 つ選択）

現在の放課後の過ごし方が、希望している放課後の過ごし方となっているかについては、「概ね希望どおりである」が 55.8%で最も高く、次いで「希望どおりである」が 35.3%、「希望とは異なる」が 9.0%となっています。



問 9 問 8 で「3. 希望とは異なる」と回答した方に伺います。希望している放課後の過ごし方は、どのような場所で、どのくらい過ごすことがよいと考えていますか。過ごさせたい場所をすべて選んでください。

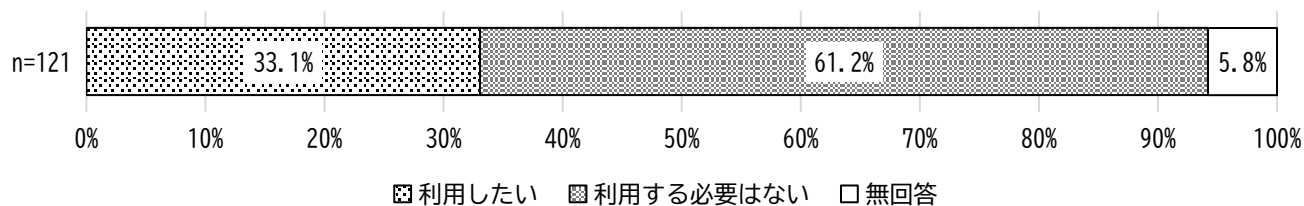
希望している放課後の過ごし方については、「その他（校庭、近隣センター、図書館、公園など）」が 40.0%で最も高く、次いで「部活動」が 31.1%、「習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）」が 24.4%となっています。



問 11 問 7、問 9、問 10 のいずれかで「1. こどもルーム」と回答した方にうかがいます。
 土曜、日曜・祝日、長期休業期間（夏休み等）に、こどもルームの利用希望はありますか。
 （それぞれ1つ選択）
 「1. 利用したい」を選択した方は、利用したい時間帯についてもお答えください。

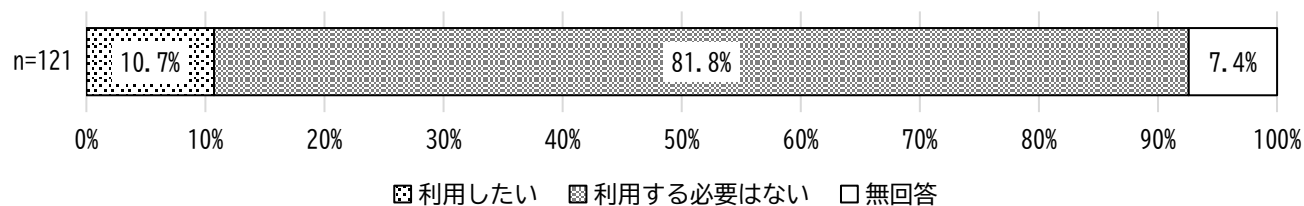
（1）土曜日

土曜日の利用希望については、「利用する必要はない」が 61.2%、「利用したい」が 33.1%となっています。



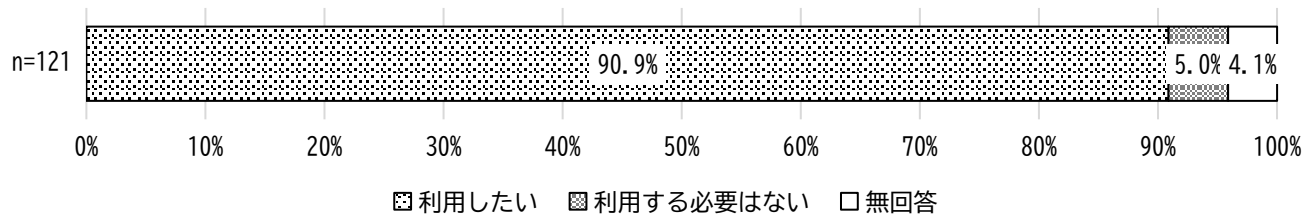
（2）日曜・祝日

日曜・祝日の利用希望については、「利用する必要はない」が 81.8%、「利用したい」が 10.7%となっています。



（3）長期休業期間（夏休み等）

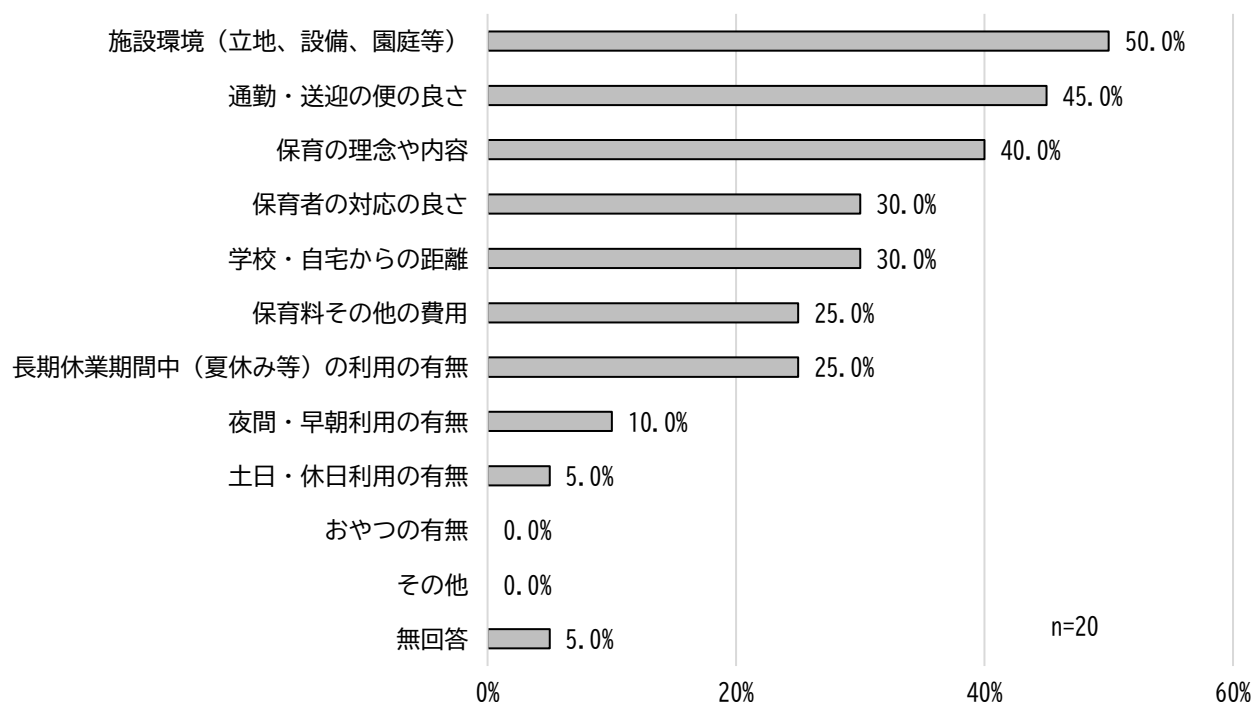
長期休業期間（夏休み等）の利用希望については、「利用したい」が 90.9%、「利用する必要はない」が 5.0%となっています。



問 12 問 7、問 9、問 10 のいずれかで「2. 民間の学童保育」と回答した方にうかがいます。

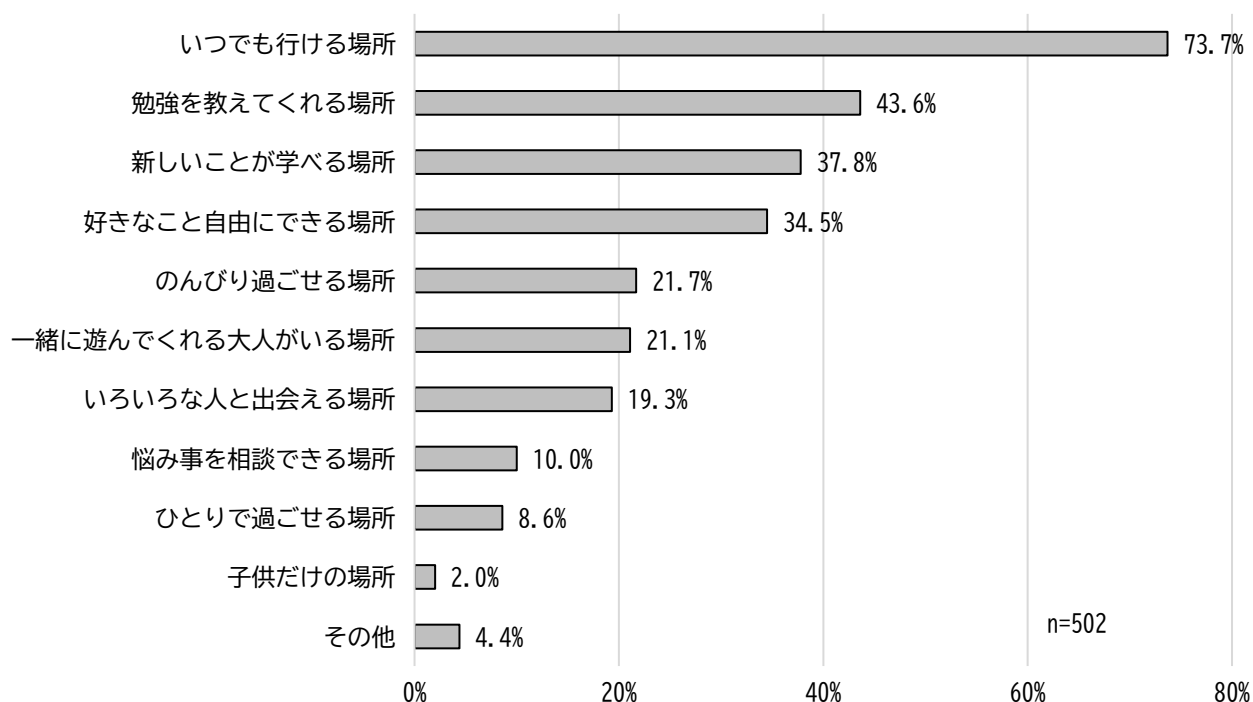
民間の学童保育を利用する際に、重視したいこととお答えください。（3 つまで選択可）

民間の学童保育を利用する際に、重視したいことについては、「施設環境（立地、設備、園庭等）」が 50.0%で最も高く、次いで「通勤・送迎の便の良さ」が 45.0%、「保育の理念や内容」が 40.0%となっています。



問 14 お子さんの放課後の居場所として、どのような居場所があったらいいと思いますか。（3 つまで選択可）

放課後の居場所として、どのような居場所があったらいいかについては、「いつでも行ける場所」が 73.7%で最も高く、次いで「勉強を教えてくれる場所」が 43.6%、「新しいことが学べる場所」が 37.8%となっています。



（「その他」の主な内容）

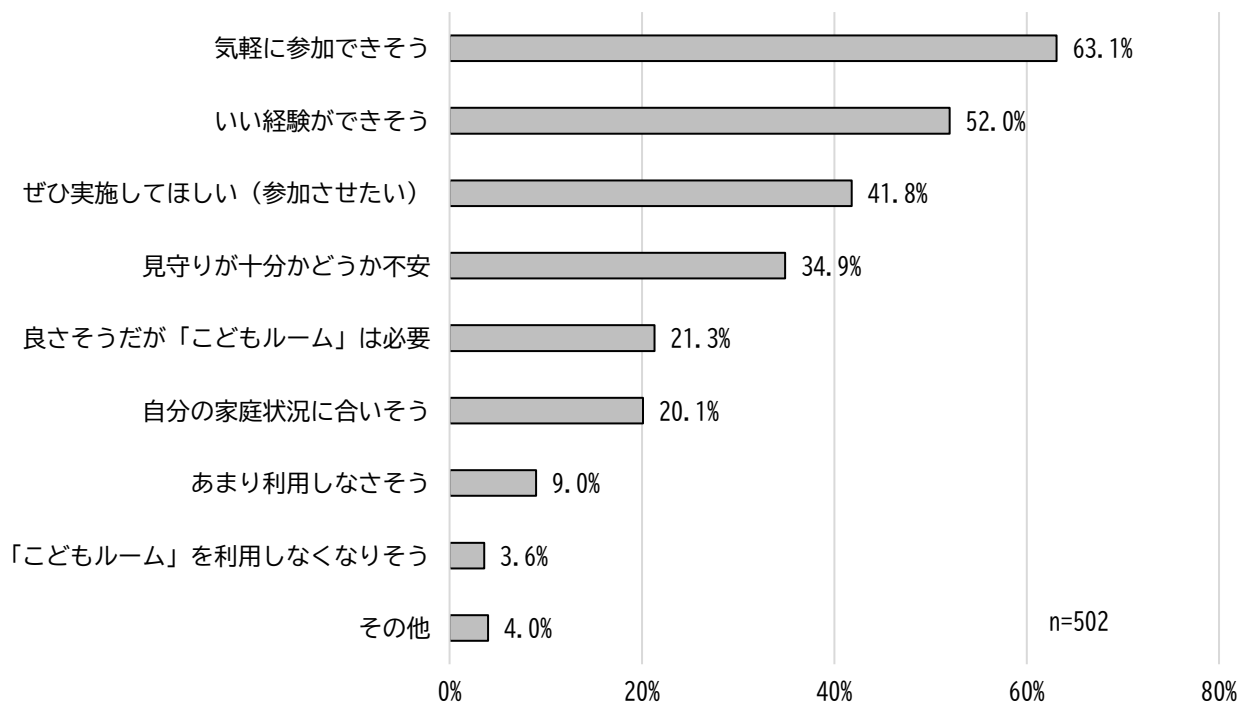
- ・親が安心して送り出せる場所。
- ・子供が楽しいと感じる場所。
- ・安心して過ごせる場所。

など、全 22 件

問 15 もし次のような「子どもが放課後に過ごせるような場所」が身近にあるとした場合、どのように思いますか。（4 つまで選択可）

	「子どもが放課後に過ごせるような場所」	参考：こどもルーム
対象者	参加を希望する全ての小学校児童	保護者が就労等の理由で放課後の保育が必要な小学校児童
開設時間	平日の授業終了後からおおむね午後4～5時くらいまでの間	放課後～午後7時
利用料	無料 （保険料や活動の実費を負担する場合あり）	月額1万円
場所	学校敷地内	主に学校敷地内
内容	・ 自由な遊びや自主学習、体験 ・ 交流活動など（子どもたちが自主的に活動する居場所の提供とその見守り → 「預かる」場ではない） ・ 安全管理のための見守りなど、地域住民の協力を得て運営	・ 指導員の下、子どもの生活の場を提供 ・ 児童福祉法に規定された「保育事業」

「子どもが放課後に過ごせるような場所」が身近にあるとした場合、どのように思うかについては、「気軽に参加できそう」が63.1%で最も高く、次いで「いい経験ができそう」が52.0%、「ぜひ実施してほしい（参加させたい）」が41.8%となっています。



（「その他」の主な内容）

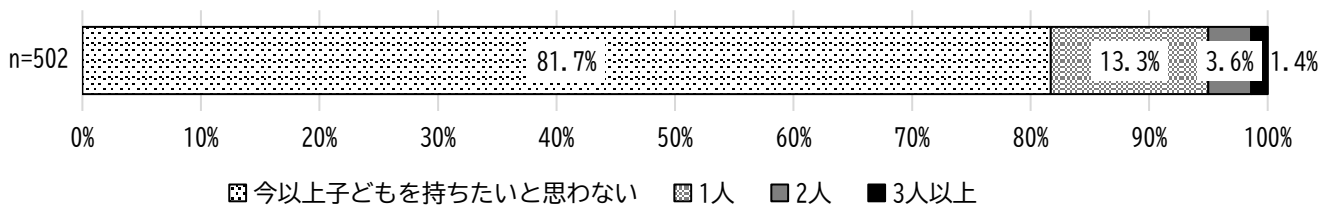
- ・ 学校の友達と遊べるので子供が喜びそう。
- ・ 責任者となる方が常在するなら利用してみたいと思う。
- ・ 利用時間が短く、フルタイムで就労している家庭だと終了後に預かりの場が必要。

など、全 17 件

3. 理想の人数のお子さんを育てるために必要な支援について

問 17 現在養育されているお子さんの他に、これからお子さんを持ちたいと思いますか（条件が合えば持ちたいと思う場合を含む）。持ちたいと思われる場合は、あと何人お子さんを持ちたいと思いますか。（1つ選択）

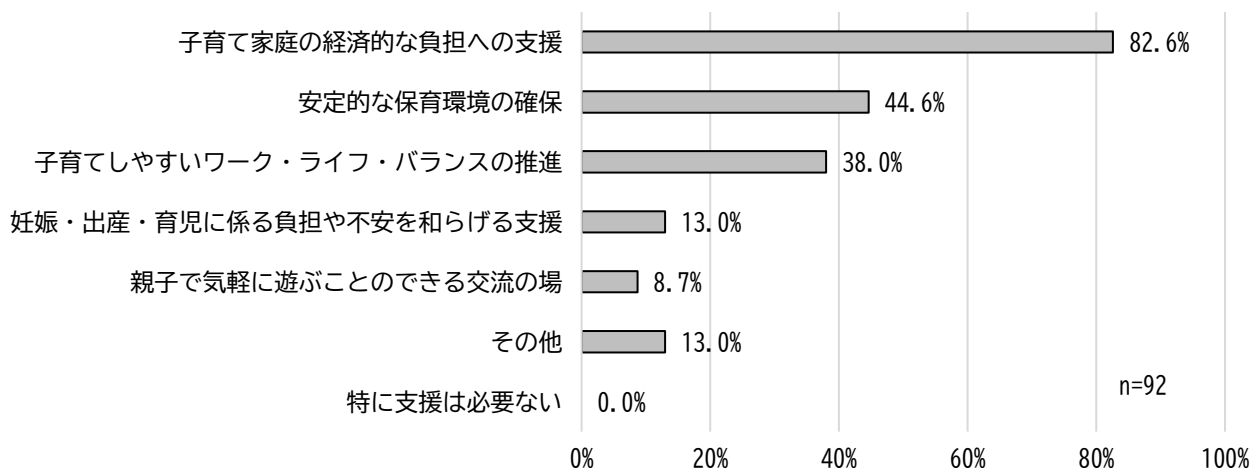
現在養育されているお子さんの他に、これからお子さんを持ちたいと思うかについては、「今以上子どもを持ちたいと思わない」が81.7%で最も高く、次いで「1人」が13.3%、「2人」が3.6%となっています。



問 17-1 問 17で「2. 1人、3. 2人、4. 3人以上」と回答した方にうかがいます。

これからお子さんを持つために必要だと思われる支援・条件をお答えください。（2つ選択）

これからお子さんを持つために必要だと思われる支援・条件については、「子育て家庭の経済的な負担への支援」が82.6%で最も高く、次いで「安定的な保育環境の確保」が44.6%、「子育てしやすいワーク・ライフ・バランスの推進」が38.0%となっています。



（「その他」の主な内容）

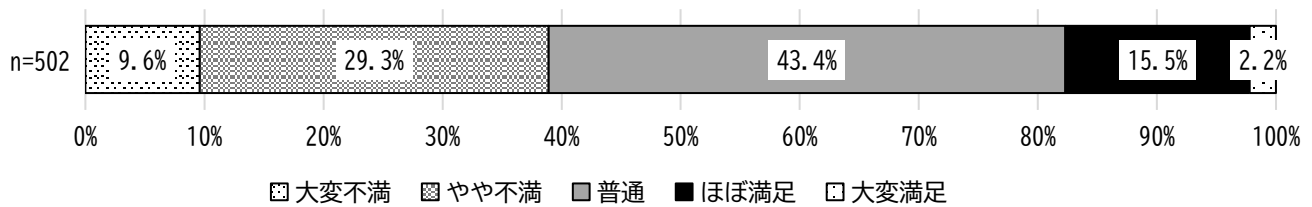
- ・ 子供達の将来的な進学への補助金。大学や専門学校等、あまりにも負担が大きすぎる。
- ・ 所得制限の撤廃、子どもの扶養控除。
- ・ 市立病院に産婦人科設置。

など、全11件

4. 子育てあるいは子育て支援全般について

問 18 柏市での子育ての環境や支援への満足度とその理由をお答えください。(1 つ選択)

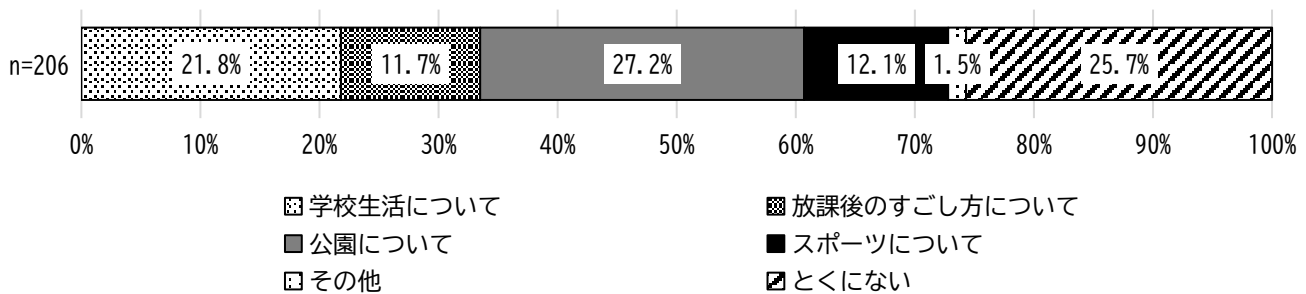
柏市での子育ての環境や支援への満足度とその理由については、「普通」が 43.4%で最も高く、次いで「やや不満」が 29.3%、「ほぼ満足」が 15.5%となっています。



IV 調査結果 小学生4～6年生

問1 こどもについての取り組みの中で、どんなことにいちばん意見を言いたいですか？次の中からひとつえらんでください。

こどもについての取り組みの中で、どんなことにいちばん意見を言いたいかについては、「公園について」が27.2%で最も高く、次いで「とくにない」が25.7%、「学校生活について」が21.8%となっています。



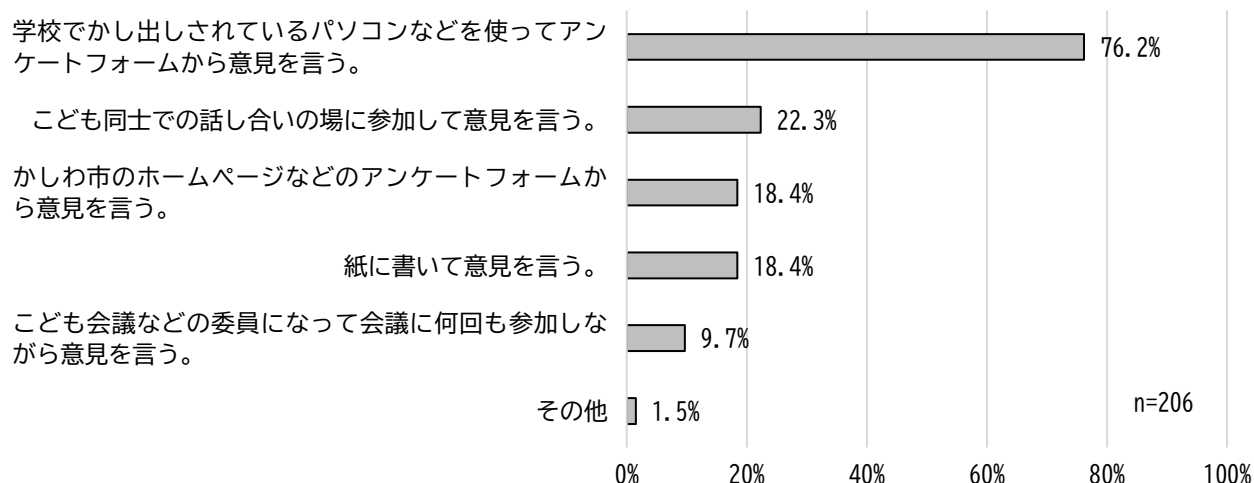
（「その他」の主な内容）

- ・部活動について。
- ・放課後、学校で遊びたい。
- ・部活動がしたい、テニスがしたい。

全3件

問2 意見を言うにはいろいろな方法がありますが、どのような方法で意見を言うのがよいですか。
よいと思うものをすべてえらんでください。

どのような方法で意見を言うのがよいかについては、「学校でかし出しされているパソコンなどを使ってアンケートフォームから意見を言う。」が76.2%で最も高く、次いで「こども同士での話し合いの場に参加して意見を言う。」が22.3%、「かしわ市のホームページなどのアンケートフォームから意見を言う。」が18.4%となっています。



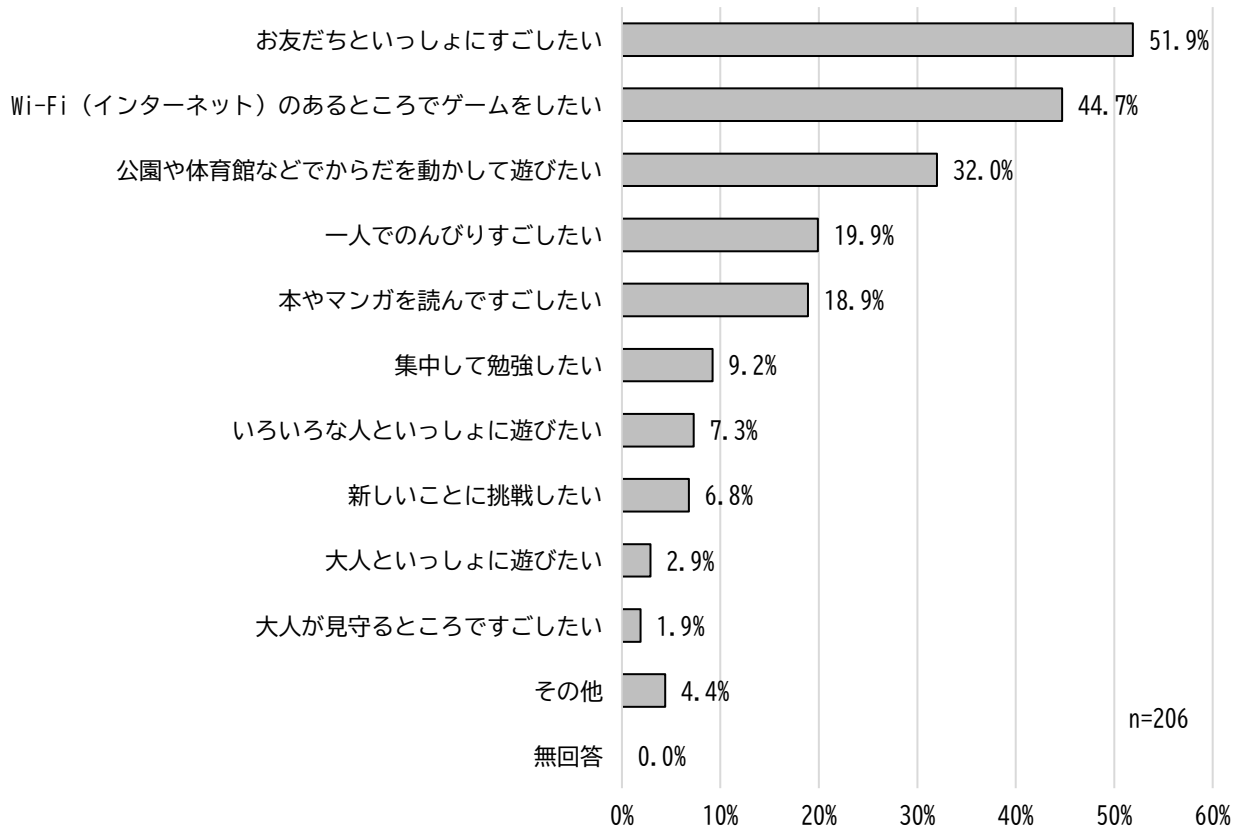
(「その他」の主な内容)

- ・信頼できる先生に自分の気持ちを自分で伝えたい。
- ・クラスみんなで話して、紙に書き提出する。
- ・携帯アプリから意見を言う。

全3件

問3 放課後はどのようにすごしたいですか。気持ちに近いものを2つえらんでください。

放課後はどのようにすごしたいかについては、「お友だちといっしょにすごしたい」が51.9%で最も高く、次いで「Wi-Fi（インターネット）のあるところでゲームをしたい」が44.7%、「公園や体育館などでからだを動かして遊びたい」が32.0%となっています。



（「その他」の主な内容）

- ・おにいちゃんたちがしてたみたいに部活をしたい。冬はミニバスがあったと聞きましたがやりたかったです。
- ・自由にテニス練習できる場所欲しいです。
- ・兄弟と一緒に遊びたい。
- ・1人でTVをみる。
- ・外国人と遊んで英語を覚えたい。
- ・工作がしたい。
- ・野球がしたい。
- ・友達と一緒に勉強したい。
- ・好きな情報を検索したい。

全9件

柏市
子ども・子育て支援に関するニーズ調査
【結果報告書】

令和6年3月

発行 柏市

編集 柏市 こども部 こども政策課

〒277-8505 柏市柏5丁目10番1号

TEL：04-7170-2692